

Title	江戸時代刊行邦人撰述学庸注釈書類簡明目録
Sub Title	
Author	大沼, 晴暉(Onuma, Haruki)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1982
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.19 (1982.) ,p.221- 258
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	阿部隆一名誉教授追悼記念論集
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000019-0221

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

江戸時代 邦人撰述学庸注釈書類簡明目録

大 沼 晴 暉

凡 例

一、本目録は阿部隆一氏が斯道文庫論集第一輯に発表せる

本邦中世に於ける大学中庸の講誦伝流について―学庸の古

鈔本並に邦人撰述注釈書より見たる―

に続いて、此に未著録の、江戸期に成立刊行せる学庸についての単行或いは合刻の注釈書類（研究・評論を含む）を著録し、以下の要領で略解を加えたものである。但し江戸期に未刊で、明治以後鉛印の方法によらず整板で上木されたものはこれを収録した。

一、排列は便宜的に、単行大学・中庸類と合刻学庸類とに分け、各々著者の五十音順によった。但し単行か合刻か亦合印か判断せず、後日の調査を俟つべきものも少くない。著者未詳本は有著者名本の後に書名の五十音順に排列した。

一、各本標題の著者名は号名をとり、当該本に記されてある諱等は号名の下に（ ）に入れて記した。

一、解説は次の①以下の標目の順で記したが、一々の内容については省略した。

- ① 外題（内題或いは標題と同じければ標目のみにて省略）
- ② 封面・見返し
- ③ 本文に入る前の序、目録等の首目
- ④ 内題
- ⑤ 版式等、匡郭の四周双辺・左右双辺・四周单辺は双・左右双・単、有界・無界は有・無、每半葉幾行・毎行幾字は幾行幾字（和文の字数不等の場合は省略）、注等の小字双行は小双、版心は黒口等で表示、柱題は内題と同じければ省略
- ⑥ 尾題（内題と同じければ標目のみにて省略）
- ⑦ 本文後の付録・跋等
- ⑧ 刊記・奥付等
- ⑨ 備考 訓点は白文・断句・総振仮名のみを記し、普通の訓点本の場合は特記しなかつた。解説の記述は何れも簡を宗とし、序跋等の訓点は省略した。

一、解説の後に当該書の刊印年次別に所蔵者名を記し、一覧の便を計った。

一、著録書の明治以降の影印・鉛印本については、之を付記したが、所在や①以下の版式の解説は省略した。

一、冊数は原装の最も代表的なもののみを記し、後人の合冊本等一々は記さなかった。

一、所蔵者名は次の略称による。

京（京都大学付属図書館）慶（慶應義塾図書館）国（国立国会図書館）斯（慶應義塾大学
付属研究所 斯道文庫）書（宮内庁書陵部）静（静嘉堂文庫）筑（筑波大学付属図書館）天（天理図書館）都（都立中央図書館）東（東京大学付属総合図書館）東北（東北大学付属図書館）内（国立公文書館内閣文庫）阪大（大阪大学付属図書館）阪府（大阪府立図書館）福（福井大学付属図書館）無（無窮会図書館）

一、テキストは殆どが新本系であり、他の場合も撰者の学統と略解とから推測できるので一々詳記しなかった。

一、本調査に貴重なる御所蔵本の閲覧・複写を許可され、種々御厚情を忝うした文庫・図書館各位に心から厚く御礼申し上げます。

一、本調査は阿部隆一を代表者とし、昭和五二年度慶應義塾学事振興資金と、同五三年以来三か年に亘るトヨタ財団よりの研究費の補助を受けた。此はその成果の一部であり、ここに銘記し厚く感謝の意を表する。

単行大学類

朝川〔善庵〕（鼎）撰 大学原本積義

- ① ② 大学原／本積義／学古塾藏（明治印本「万笈閣藏」と改む） ④ 大学原本積義／江戸朝川鼎五鼎父著／門人（校者三名の中央に）／出羽伊藤馨／遠江邨尾融／越後野沢颯／同校（邨尾融の下に） ⑤ 左右双有10行20字小双。小黑口。下象鼻に「学古塾藏」 ⑥ 大学原本積義終（五四丁表末行）。文政一三年修本は五三丁裏第四行末字以下を改め巻末に餘白ができ尾題を同丁末行に刻す ⑧ 初印本なし。文政一三年修本奥付「文政十三年庚寅六月発兌／書肆／中橋広小路 北林堂 西宮弥兵衛／两国横山町三丁目 玉巖堂 和泉屋金右衛門」。後印本奥付「文政十三年庚寅六月発兌／書肆／大坂心斎橋安土町 河内屋儀助／江戸中橋広小路 西宮弥兵衛／江戸两国横山町三丁目 和泉屋金右衛門」。因は奥付の前に「玉巖堂蔵梓目錄」七丁を付す。玉巖堂後印本、「玉巖堂頒行并製本書目」一〇丁、奥付「三都／書物／問屋／京都寺町通松原下ル町 勝村治右衛門／大坂心斎橋通北久太郎町 河内屋喜兵衛／同安堂寺町 秋田屋太右衛門／同博労町 河内屋茂兵衛／同南久宝寺町 伊丹屋善兵衛／尾州名古屋本町七丁目 永楽屋東四郎／江戸日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛／同浅草茅町二丁目 須原屋伊八／同日本橋通二丁目 山城屋佐兵衛／同芝神明前 岡田屋嘉七／同横山町三丁目 和泉屋金右衛門板」。明治印本は「尾州名古屋本町六丁目 片

野東四郎／…／同(東京)本石町二丁目 江島喜兵衛の「諸
国書肆」・「三府書肆」売捌所三六肆を刻する奥付二丁半を付す
③三肆後印本を底本に「日本四書註釈全書 学庸部卷」(大正一
二 東洋図書刊行会刊)に翻字さる。

〔文政〕刊(江戸) 学古塾蔵板) 大一冊 京斯都東福
文政一三年六月〔修〕(江戸) 玉巖堂和泉屋金右衛門・北林
堂西宮弥兵衛(学古塾蔵板) 京阪府

〔後印〕(同右に書肆大坂河内屋儀助加わる) 国筑
〔後印〕(江戸) 玉巖堂和泉屋金右衛門) 無
〔明治〕印(東京) 万笈閣江島喜兵衛) 斯東北無

浅見〔綱齋〕(安正)撰 辨大学非孔氏之遺書辨
①辨大学非孔書辨 ④辨大学非孔氏之遺書辨 ⑤単無9行18
字。双黒魚尾を版心上下端に刻し黒口の如くす。柱題「辨大学
非孔書辨」⑥辨大学非孔氏之遺書辨畢 ⑦己巳之歳十二月浅見
／安正識(跋) ⑧日本儒林叢書 第四卷(昭和四 東洋図書刊
行会刊)に翻字さる。

〔元禄二年〕一二月跋刊 大一冊 京慶斯筑都阪大

同人撰 批大学辨断

① ③元禄癸酉之春会陽府山／崎景序「大学辨断序」(内題の次
行に一格を低してあり) ④批大学辨断(次行より序二丁あり
次に) 大学辨断 ⑤単無10行20字。白口(但し版心上端は黒魚
尾にて黒口の如くす) ⑦丙子仲／冬日／浅見安正識(跋) ⑧
元禄丁丑孟春京師書肆／万屋喜兵衛請板。刊記五八丁裏にある
もの初印、五八丁表にあるもの後印。

元禄一〇年一月刊(京)万屋喜兵衛) 大一冊 東北内

〔後印〕(同) 国斯筑

同人撰 大学明德説

① ④大学明德説 ⑤単無6行15字。双黒魚尾を版心上下端に
刻し黒口の如くす ⑥尾題なく卷末に「浅見安正謹書」。

〔元禄頃〕刊 大一冊 国斯(敬義内外説・大学物説と合綴)阪
大

同人(浅見)綱齋撰 大学物説(版心)

① ④内題なく扉の如くに「詩曰天生三蒸一民_{朱本如字}有物／有則／
大学曰致知在格物」を掲げ二丁裏より本文 ⑤単無9行14
字。白口。上象鼻に「大学物説」⑥尾題なく卷末に「宝永三
年丙戌十二月日／綱齋敬書」。

宝永三年一二月(跋)刊 大一冊 国斯(一部は敬義内外説・
大学明德説と合綴)都

荒井好義(達)撰「集解」大学

③文政乙酉三月庚子荒井達序「集解大学序」④大学大旧音察
朱本如字／
日本 信州 荒井達著 ⑤左右双有9行19字小双。白口。上象
鼻に「集解大学」⑥集解大学終 ⑦信州 荒井達識「集解大
学後序」。于時弘化五年戊申春三月／姪 清水從善敬識(跋)。
弘化五年三月跋刊 大一冊 福

荒井鳴門(公廉)撰 大学朱子章句嵌註

③嘉永紀元戊申槐夏／鳴門 荒井公廉撰「学庸嵌註自叙」④
大学朱子章句嵌註／日本 鳴門荒井公廉著 男公履校(朱子の
序より収む) ⑤単有8行(但し界の右側に夫々小界を作り注

を嵌む、即ち大小16行からなる) 20字。白口。中縫に「大学嵌註」⑥大学嵌註終 ⑨国に「中庸朱子章句嵌註」共大二冊の版下用稿本が存す。但し中庸は未刊に終わったものの如し。

嘉永一年夏序刊 大一冊 国

池田草菴(緝)撰 古本大学略解

① ②山陰 池田緝著／古本大学略解／大阪書林 岡田群玉堂製本(後印本は書肆名を「嵩山堂蔵梓」と改刻) ③明治庚午秋八月 草菴池田緝序「古本大学略解序」 ④古本大学略解／山陰但馬 池田緝著 ⑤単有9行20字。白口。上象鼻に「大学略解」 ⑥古本大学略解^華 ⑧明治五^五 申歲晚秋新刻／書林／大阪東大組第二十三区博労町通／四丁目心齋橋筋角／羣玉堂 岡田茂兵衛。大阪天満宮蔵本は此後に「発兌／書買／東京 北畠茂兵衛／同 稲田佐兵衛／同 小林新兵衛／同 山中市兵衛／同 佐久間嘉七／同 太田金右エ門／西京 辻本仁兵衛／同 藤井孫兵衛／尾州名古屋 片野東四郎／同 栗田東平／大阪心齋橋通博労街角 岡田茂兵衛」の奥付あり。後印本は刊年を残し書肆名を削去、以下の奥付を付す。「和漢洋書籍出版所／発行者 大阪市南区安堂寺橋通四丁目 青木恒三郎／製本発売所 大阪市中心齋橋筋安堂寺町 嵩山堂本店／同 東京市京橋区南伝馬町二丁目 嵩山堂支店／同 伊勢国三重郡四日市港堅町 嵩山堂分店」—大阪府無。又青木・本店・支店の住所を「大阪市東区博労町四丁目廿六番屋敷・大阪市中心齋橋筋博労町・東京市日本橋区通巷丁目」と改めたもの—筑都。「和漢洋書籍発兌処／…… 御用書肆／発行印刷者 大阪市東区博労町四丁目廿七

番邸 青木恒三郎／製本発売所 東京市日本橋通巷丁目 青木嵩山堂／同 大阪市中心齋橋筋博労町 青木嵩山堂／売捌所 勢州四日市港堅町 嵩山堂支店—阪大(二部あり、一は別奥付にて「売捌所……」以下なし) ⑨青鉛書院蔵初印本(大阪天満宮蔵本と同奥付)が「池田草菴先生著作集」(昭和五六 池田草菴全集編集委員会刊)に影印さる。

明治五年九月刊(大阪 羣玉堂岡田茂兵衛) 大一冊 大阪天満宮斯阪府福無

〔後印〕(大阪 嵩山堂青木恒三郎) 筑都東大阪府無

市川鶴鳴(匡)撰 大学精義

① ②東都鶴鳴先生著／大学精義／大阪書舖 崇高堂発行 大学精義／東都 市川匡子人 著 ⑥左右双有10行20字。白口。下象鼻に「鶴鳴舎蔵本」 ⑧鶴鳴舎蔵版／(蔵版書目)／朱印「鶴鳴／舎蔵」(三八丁表に)。同丁裏に「寛政紀元己酉十一月刊／発行／書林／京師／林伊兵衛／梅村宗五郎／江戸 小林新兵衛／大阪 泉本八兵衛」。後に「崇高堂蔵板目録 大阪心齋橋筋南久宝寺町 河内屋八兵衛」一丁を付すものあり。無一本刊記なし。

寛政一年一月刊(大阪 崇高堂泉本八兵衛(鶴鳴舎蔵板))

大一冊 京筑天都阪大阪府福無

伊藤(仁齋)(維楨)撰 大学定本

④大学定本／日東 洛陽伊藤維楨 述 ⑤単無9行20字。白口 ⑥大学定本終 ⑦告貞／享歲次乙丑夏四月洛陽伊藤某謹識(跋) ⑨正徳三年刊「中庸発揮」との合刻か。

〔正徳頃〕刊 阪府

同人撰 同

- ① ③ 正徳三年癸巳臘月日伊藤長胤謹叙「大学定本序」④ 大学定本／洛陽 伊藤維楨 考定 ⑤ 単無10行20字。白口。下象鼻に「古義堂藏」 ⑦ 皆貞享二年歲次乙丑夏四月洛陽伊藤／某謹識（跋） ⑧ なし。斯・阪府一本天東涯手沢本は正徳四年刊中庸發揮と同奥付を、天東岸手沢本は同じく文泉堂後印本の奥付を付す。今注記して後考を俟つ ⑨ 天に板本以前の数次に亘る稿本、亦東涯・東所等の手沢本あり。此書「中庸發揮」との合刻か。後仁齋撰述古義堂四書として合印さる。「日本名家四書註釈全書 学庸部卷」（大正二二 東洋図書刊行会刊）に翻字あり。

正徳三年一二月序刊（京）古義堂藏板） 大一冊 京慶国斯書静筑天東東北内阪大阪府福無（四書合印本の別れも含む）

伊藤〔東涯〕（長胤）撰 大学定本釈義付大学六議

- ① ③ 元文四年己未端午日季弟長堅謹序「刻大学釈義序」④ 大学定本釈義／伊藤長胤 著 ⑤ 単無9行20字。白口。上象鼻に「大学釈義」、下象鼻に「慥慥齋集」 ⑥ 大学定本釈義畢 ⑦ 大学十六議付。皆 元文三年戊午九月朔旦 門人度会齋撰「書大学定本釈義後」。修本「皆／元文三年戊午九月朔旦 門人度会末齋撰」とあり ⑧ 朱印「古義／堂／藏板」の下に「每部有」
「印章記」号／無是者皆屬「贋」本／元文己未新刊 京兆 文泉堂発行。修本は「文泉堂」を「奎文館」と改刻。後印本は「奎文館」を削去し、「古義堂遺書目錄 文泉堂（天は削去）発行／……／平安書肆 寺町二条下ル町 林権兵衛（天は『平安

書肆／林権兵衛／林芳兵衛」と改む）三丁（国天東岸手沢本無はなし）を付す ⑨ 天に享保九年一月自筆草稿本（六議を付さず）、同一八年秋自筆補訂の浄書本、亦東所・東岸手沢本あり。金沢市立図書館蔵大学六議は「京都書林広文堂藏書目錄／……／京都書肆 巴屋清兵衛梓」の奥付を付すも、表紙裏表紙共改裝。

元文四年刊（京 文泉堂（京）古義堂藏板） 大二冊 京慶天都無（天以下大一冊・天は東所手沢本）

〔修〕（京 奎文館（同） 斯筑内（六議欠）福（古義堂印なし）〔後印〕（京 文泉堂林権兵衛（同） 国（改装本、刊記迄にて裏表紙欠） 天阪府無

伊藤鹿里（祐義）撰 大学図解

- ① ② 鹿里伊藤忠岱著／大学図解／仰継堂藏板 ④ 大学図解／信濃 伊藤祐義忠岱述 ⑤ 左右双無図表形式6行16字内外。白口。下象鼻に「仰継堂藏板」 ⑥ 大学図解終（一六丁裏卷末下部に）。

〔江戸後期〕刊（仰継堂藏板） 大一冊 東福

同人撰 大学国字解二卷

- ① ② 天保七年仲春開刻（横書）鹿里伊藤忠岱著／大学国字解／仰継堂藏板 ③ 天保六年大歳乙未冬十有一月海保元／備濃「大学国字解序」 ④ 大学国字解卷之上（下）／信濃 伊藤祐義忠岱著 ⑤ 左右双有6行16字国字解小双24字。白口。下象鼻に「仰継堂藏版」 ⑥ 大学国字解卷之上（下終）。
天保七年二月刊（仰継堂藏板） 大二冊 斯筑

〔井上〕金峨撰 金峨先生大学古義

- ①大学古義 ②安永戊戌之夏／門人東都劉簡謹識「刊大学古義序」 ④金峨先生大学古義／門人東都劉簡 校 ⑤単無10行20字。白口。上象鼻に「大学古義」 ⑥金峨先生大学古義終 ⑧安永戊戌春三月／書肆／江戸日本橋通三町目 前川六左衛門／同檜物町式町目 山口吉良兵衛（二四丁裏）。福は二四丁表迄にて、それを裏表紙見返に貼付 ⑨「日本四書註釈全書 学庸部 卷」（大正二二 東洋図書刊行会刊）に翻字さる。

〔入〕江滄浪居（忠固）撰 大学養老篇二卷付郷飲酒義
京斯筑都福（刊記なし）無

- ① ③寛保三年癸亥春三月戊寅／信陽 太幸純「養老篇序」
④大学養老篇／東都 江忠固述／門人田春章校（此上に「養老
大義」と刻す）。下は「養老篇補遺／江 忠固 撰」⑤単有9
行17字小双。白口。上象鼻に「大学国字解初編上（下）」、下象
鼻に「滄浪居」。上は国字、下・付録漢文 ⑥上なし。学校養
老補遺終。図説終 ⑦養老篇付録／郷飲酒義礼記第四 ⑧寛保癸
亥春三月／東都 書房 浅倉屋久兵衛 ⑨「日本経済叢書 卷
八」（大正四 日本経済叢書刊行会刊）に翻字さる。
寛保三年三月刊（江戸 浅倉屋久兵衛）大三冊 筑無

植村説斎（正助）撰 大学童蒙解二卷

- ① ②植村説斎先生著／大学童蒙解／平安書肆循古堂発行（京
大二部のうち大二冊本のみに存す。後印本か） ③寛政五年癸
丑秋七月望／平安 手島堵菴男上河正揚識／於淇水楼中「大学

童蒙解序」④大学童蒙解卷之上（下） ⑤単無10行国字解字数
不等。経文不載。白口 ⑥大学童蒙解卷之上（下）終 ⑦寛政
五年秋八月 津山北山誠「大学童蒙解跋」⑧奥付「植村正助著
／寛政五年癸丑冬十二月吉旦／津山莊敬舍藏版／京都弘所 書
肆循古堂淡海莊兵衛」。

寛政五年二月刊（津山 莊敬舍藏版） 大一冊 京（大二冊
本もあり。後印本か）慶斯筑都福無

大塩〔中斎〕（後素）撰 古本大学刮目（序題）

- ③于時／天保三歲次壬辰夏六月浪華大塩後素／題于洗心洞中
「古本大学刮目自序」。凡例。古本大学刮目綱領。引用姓氏。大
学古本旁註／漢 戴 聖 撰／明 王 守 仁 註 ④大学
⑤単有12行20字小双。白口。上象鼻に「古本大学刮目」⑥未
刻丁あるも二三三丁迄存、阪府は未刻箇所を補写す。
天保三年六月序（未完校正副本） 大六冊 都阪府

大田錦城（元貞）撰 大学原解三卷

- ① ②錦城大田先生著／大学原解 全三冊／……稽首請教。
多稼軒藏。文政一〇年印本・後印本「大田錦城先生著／大学原
解 全三冊／……稽首請教。玉巖堂發兌」。（天後印本、同様
に刷印せる袋あり）。明治印本は上記封面を覆刻し、書肆名を
「万笈閣發兌」と改む ③大学原解序。文政四年辛巳中秋前二
日／吉田儒員加賀大田元貞才佐識「大学原解改正三義」④大
学原解卷之上（中・下）／加賀大田元貞公幹学 門人／江戸中
井豊民／信濃／白倉信煥／加川隆礼／校（白倉信煥の下）。（校
者、中は「信濃伊藤祐義／越後佐藤元裕／武蔵戸谷惟孝／校

〔佐藤元裕の下〕。下は「男／玄齡季喬／如晦季明／福祿天瑞／同校〔如晦季明の下〕」⑤単有11行20字。小黒口 ⑥大学原解卷之上尾（下巻）。大学原解卷之中尾 ⑦文政四年辛巳陽月之吉／門人 伊藤祐義忠俗謹撰「錦城先生大学原解後序」。時文政辛巳仲冬 門人 渡辺思順 謹撰「大学原解後序」（斯無豬飼敬所書入移写本は綴順逆）。無の初印本後付を全く欠くも改装。文政一〇年印本（筑天都）と以後の印本は、此二後序を「大学原解序」の次に綴す ⑧なし。文政一〇年印本奥付「〔広告書目〕文政十年丁亥二月日／江都書林／兩國吉川町 文会堂 山田佐助／淺草新寺町 慶元堂 和泉屋庄次郎／兩國横山町三丁目 玉巖堂 和泉屋金右衛門」。京は奥付の前に「錦城大田先生著述日記 門人 荒井繇行堯民識」二丁。「玉巖堂発兌目録」^{東都 河内}和泉屋金右衛門梓「四丁を付す。筑天都は「錦城大田先生著述目録 門人 荒井繇行堯民識」一丁。「玉巖堂蔵梓目録」^{東都 河内}和泉屋金右衛門「七丁を付す。後印本、東は「玉巖堂製本書目」九丁、奥付「三都／書物／問屋／京都……勝村治右衛門／大坂…… 河内屋喜兵衛／江戸…… 須原屋茂兵衛／同…… 須原屋伊八／同…… 須原屋新兵衛／同所 山城屋佐兵衛／同…… 岡田屋嘉七／同…… 英屋大助／同…… 和泉屋庄治郎／同…… 和泉屋金右衛門」。斯都（二部のうち一部）は「玉巖堂製本書目」九丁、奥付「三都／書物／問屋／京都…… 勝村治右衛門／大坂…… 河内屋喜兵衛／同…… 秋田屋太右衛門／同…… 河内屋茂兵衛／同…… 伊丹屋善兵衛／尾州名古屋…… 永楽屋東四郎／江戸…… 須原屋茂兵衛

／同…… 須原屋伊八／同…… 山城屋佐兵衛／同…… 岡田屋嘉七／同…… 和泉屋金右衛門。静天都（二部のうち一部、但し大日本史の広告なし）は「大日本史（広告）」一丁、「玉巖堂頒行并製本書目」一〇丁、奥付「京都…… 出雲寺文次郎／同…… 村上勘兵衛／大坂…… 河内屋喜兵衛／同…… 秋田屋太右衛門／同…… 伊丹屋善兵衛／尾州名古屋…… 永楽屋東四郎／江戸…… 須原屋茂兵衛／同…… 須原屋伊八／同…… 山城屋佐兵衛／同所 須原屋新兵衛／同…… 岡田屋嘉七／同…… 和泉屋金右衛門版。明治印本（京都府綜合資料館にもあり）は、朝川〔善庵〕撰「大学原本釈義」明治印本と同奥付 ⑨文政一〇年印本を底本に「^{名家}四書註釈全書 学庸部式」（大正二二 東洋図書刊行会刊）に翻字さる。文政四年一月序刊（多稼軒蔵板）大三冊 斯東無（一部は猪飼敬所書入移写本） 文政一〇年二月〔印〕（江戸 玉巖堂和泉屋金右衛門） 京斯筑天都 阪府

〔後印〕（同） 東（三都壳捌） 斯静天都（二部・四都壳捌）

〔明治〕印（東京 万笈閣江島喜兵衛） 東

岡蔭竹塙（信夫）撰「増注」大学

①増註大学 ②岡蔭竹塙（阪大「陽」先生増注／大学／東都書肆盧橋堂梓（無と後印本封面なし） ③宝曆四年甲戌冬十月甲子／平安 岡蔭信夫謹序「増注大学序」 ④大学／漢大司農北海鄭 玄 注／唐国子博士吳鼎陸元朗 音／日本布衣平安岡蔭信夫 増 ⑤双有9行20字小双。白口。上象鼻に「増註大学」

⑥増註大学^肆(二三丁表末行) ⑧二三丁裏に木記「岡島忠藏甫増注／宝曆四年甲戌冬十月甲子／武江 野田太兵衛／京師 野田弥兵衛／藏板」。後印本は地名はそのままにて、書肆名を「須原屋平助／須原屋平左衛門」と改む。
宝曆四年一〇月刊(江戸 盧橋堂野田太兵衛) 大一冊 斯阪大福無

〔後印〕(京 須原屋平左衛門・江戸 須原屋平助) 京斯筑

小野達安撰 大学義疏

① ③天明七丁未年春三月日小野達安敬序「大学義疏序」 ④大学義疏／城州 達安述 ⑤単有10行17字国字解低一格20字。版心下部に「精一堂藏板」 ⑥天明七丁未年春三月日／大学義疏^肆 ⑧達安述書(目)。

天明七年三月序刊(兵庫) 精一堂藏板) 大一冊 東筑福無

葛〔西〕因是(實)撰 大学辨錦付大学考証

① ②葛因是先生述／大学辨錦／江戸千葉氏藏版 ③大学考証(末に「日本文政戊寅春三月浪華葛實記」。大学辨錦／目錄(綴順異なるものあり) ④大学辨錦／日本 葛質林文述 男無害浩然較(跨行) ⑤単有10行20字。白口 ⑧木記「文政八年歳在乙酉夏六月開彫」。後印本奥付、堺屋印本「書林／江戸日本橋通壱丁目 須原屋茂兵衛／同日本橋通二丁目 山城屋佐兵衛／同芝神明前 岡田屋嘉七／同本石町十軒店 英大助／同浅草茅町二丁目 須原屋伊八／大阪南久宝寺町心齋橋南へ入 堺屋新兵衛／同順慶町心齋橋南へ入 堺屋定七」。伊丹屋印本「発行／書肆／江戸日本橋通壱丁目 須原屋茂兵衛／同浅草茅町二丁目

須原屋伊八／同日本橋二丁目 山城屋佐兵衛／同本石町十軒店 英大助／同芝神明前 岡田屋嘉七／大阪心齋橋通南久宝寺町 伊丹屋善兵衛版」を付し、辨錦・考証の順に綴す。

文政八年六月刊(江戸 千葉氏藏板) 大一冊 筑

〔修〕(同) 斯静天大阪府福無 ○較者名の「男」の字削去

〔後印〕(大阪 堺屋定七等) 無

〔後印〕(大阪 伊丹屋善兵衛) 京

加藤章庵撰 大学紀聞略説三卷

① ③元禄第二龍集己巳孟春穀旦／門人操杖子謹序「大学紀聞略説序」 ④大学紀聞略説卷之上(中・下) ⑤単無10行20字小双。白口。下象鼻に「加藤章庵編」 ⑥大学紀聞略説上(中) 卷終。大学紀聞略説終 ⑦章菴(拔) ⑧なし。後印本奥付「発行／書林／江戸日本橋通壱丁目 須原屋茂兵衛／同浅草茅町二丁目 須原屋伊八／同日本橋通二丁目 山城屋佐兵衛／同本石町十軒店 英大助／同芝神明前 岡田屋嘉七／京都三条通升屋町 出雲寺文治郎／肥前佐賀白山町 紙屋惣右衛門／大阪南久宝寺町 榎並屋小兵衛／同心齋橋備後町 近江屋平助／同心齋橋通南久宝寺町 伊丹屋善兵衛」。

元禄二年一月序刊 大三冊 筑無(補写卷中・改装本)

〔後印〕(大阪 伊丹屋善兵衛等) 京斯筑東北

神笠松篁軒(世猷)撰 大学(簡解)

①嘉永二年印本「大学簡解」 ③天保壬辰春三月／尾張列士 神笠世猷「大学簡解序」 ④大学(内題下に「大学、学校之名、述下学校所」以教人之方、因以名篇、)と小字双行にて刻

す)／尾張 神禁世猷 簡解 ⑤単無9行19字。版心上端黒魚尾を以て黒口の如くす。柱題「大学」 ⑥大学簡解終 ⑦天保十一年庚子十一月／松篁軒藏。嘉永二年印本は刊記を削去し以下の奥付を付す。「神野順藏撰／嘉永二己酉年十二月発行／製本書繼／尾張名古屋七間町二丁目 永楽屋吉助／江戸今川橋通本銀町二丁目 永楽屋文助」。

天保十一年一月刊(尾張 松篁軒藏板) 大一冊 斯
嘉永二年二月〔印〕(名古屋 永楽屋吉助・江戸 永楽屋文助) 内福

龜田鵬齋(興)撰 大学私衛^村学校辨

① ②鵬齋先生著／大学私衛／善身堂藏。文政一三年印本以降「善身堂藏」を削去し「江戸書林 玉山堂藏」と改む ④大学私衛／關東 龜田 興著 ⑤左右双有9行20字。断句。下象鼻に「善身堂」 ⑦学校辨一篇^村。後序。寛政十一年己未孟春／十七日 男頼之謹識(跋)。文化修本「頼之」を「長祥」と改む ⑧四五丁裏末行「寿字堂関九鶴剖劔」(文化修本以下削去)。東奥付なく最も早印か。斯奥付「東都書肆 馬喰町三丁目 若林清兵衛板」。文化一五年修本奥付「文化十五^{戊寅}正月／京都書林 京堀川通仏光寺下ル 植村藤右衛門／大坂書林 心齋橋南久宝寺町 泉本八兵衛／江戸書林／日本橋通巷丁目 須原屋茂兵衛／同式丁目 山城屋佐兵衛」。文政印本奥付なし。文政六年印本奥付「文政六癸未歲十二月新刻／善身堂一家言 全二冊既刻／黍稷稻梁辨 全一冊同／書肆／京都三条通升屋町 出雲寺文次郎／大阪心齋橋筋安堂寺町 秋田屋太右衛門／江戸浅草新寺町

和泉屋庄二郎。同和泉屋後印本、「慶元堂藏板目錄」六丁(又四あり実は七丁)、次に奥付「製本所 江戸浅草新寺町 和泉屋庄二郎」を付す。文政一三年印本奥付「芳草之部嗣出／濕草之部同／文政一三^{庚寅}年九月／江戸書林／日本橋通巷丁目 須原屋茂兵衛／同通式丁目 山城屋佐兵衛」。天保四年印本奥付「草木^{スギノキ}育種(広告)／天保四癸巳年／江戸書林 日本橋通二丁目 山城屋佐兵衛。同山城屋後印本、慶奥付「(広告書目)／三体唐詩／端平詩藹／合刻嗣出板元 江戸日本橋通二丁目 山城屋佐兵衛」。東奥付「発行／書林／京都三条通松原下ル 勝村治右衛門／大坂心齋橋北久太郎丁 河内屋喜兵衛／同南巷丁目 敦賀屋九兵衛／江戸芝神明前 岡田屋嘉七／同 和泉屋吉兵衛／銀座三丁目 山城屋政吉／日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛／同二丁目 須原屋新兵衛／横山町三丁目 和泉屋金右衛門／浅草茅町 須原屋伊八／日本橋通二丁目 山城屋佐兵衛梓」(国筑は此奥付の前に「東都書林 山城屋佐兵衛藏板略目録」五丁あり)。明治印本(国学院にもあり)奥付「三都書林(横書)／京都…… 勝村治右衛門／大坂…… 柳原喜兵衛／同…… 石田和助／東京…… 北畠茂兵衛／同…… 小林新兵衛／同…… 佐久間嘉七／同所 牧野吉兵衛／两国横山町三丁目 太田金石衛門／日本橋通二丁目 稲田佐兵衛」。

寛政一一年一月跋刊(「江戸」 善身堂藏板) 大一冊 斯東
文化一五年一月〔修〕(江戸 山城屋佐兵衛等)〔江戸〕 善身堂藏板) 天
〔文政印〕(「江戸」 善身堂藏板) 都

文政六年二月〔印〕（江戸 和泉屋庄二郎〔江戸〕 善身堂蔵板） 京都東北坂大福

〔後印〕（同） 天

文政一三年九月〔印〕（江戸 玉山堂山城屋佐兵衛） 斯

天保四年〔印〕（同） 無

〔後印〕（同） 慶国筑東

〔明治〕印（東京 玉山堂稲田佐兵衛） 東無

宜春堂菱花撰 松翠軒長谷川光信画 大学倭絵抄三卷

（外題）

① ③ 浪花桑門 宜春堂菱花誌「大学倭絵抄序」④ 内題なし

⑤ 単無。図中に経文を引く。抄文見開き左端五行字数不等。裏

丁匡郭外の下端に丁付 ⑧ 浪華画工 松翠軒 長谷川光信／

書肆／江戸 日本橋南巷丁目 須原屋茂兵衛／皇都 二条通寺

町角 鶴屋喜右衛門／浪花 天神橋筋伏見両替町 糸屋市兵衛

／版行（後二肆の下に横書）。都は次に「糸舎弘昭軒 蔵版絵

本目錄」を裏表紙見返に貼付。修本糸屋の住所肆名を削去し

「心齋橋三ツ寺筋北入 阿波屋文蔵」と改め、裏表紙見返に「大

坂書林 寿桜堂蔵板」（目錄）を貼付 ⑨ 筑見返に彩色刷の図あ

り、のど下端に「上序文終」と刻す。無は欠丁本か。

〔江戸後期〕刊（大坂 弘昭軒糸屋市兵衛） 半三冊 国都

〔後印〕（大坂 寿桜堂阿波屋文蔵） 筑無

〔熊沢蕃山〕撰 大学小解

① 杉浦印本、斯東北は外題の下に「熊沢了海（京書は允）著」とあり

② 享和一年印本「了介熊沢先生著／大学小解（ひろめ）／書舖

発兌」。京津逮堂明治後印本「熊沢了海先生註釈／大学小解／京都書林大谷津逮堂蔵」④ 大学小解^{タイクウシヤカクイ} ⑤ 無無12行経文18字国

字解不等。版心は柱題「大学小解 上（中）」（各巻頭・下はな

し）、「丁付（通し）」を刻するのみ ⑧ 書林 川瀬石町 須藤権

兵衛板。次印本、刊記を削去し木記「武江 日本橋南一丁目

杉浦三良兵衛梓」を加刻。寛政八年印本、「寛政丙辰夏六月再

治 浪華書坊 山口又一郎」と刊記を改め、奥付「賭春堂蔵書

目錄心齋橋通北久太郎町山口屋又一」を付す。享和一年印本以下刊

記の書肆名を削去す。享和一年印本奥付「（廣告書目）／享和元

年辛酉冬求之／皇都 書林 銭屋利兵衛。文栄堂印本奥付

「（廣告書目）／御書物所 ^{大阪心齋橋通北久宝寺町} 文栄堂 河内屋嘉七郎版」。

河内屋源七郎印本は、封面に「皇朝戰略編／……／大阪書肆

心齋橋通北久宝寺町 河内屋源七郎梓」の廣告あり、奥付「（広

告書目）／大阪書肆 心齋橋通久宝寺町 河内屋源七郎板」。川

勝明治印本奥付「和漢洋書籍／并ニ法帖類売買／製本所 西京

寺町通綾小路下ル町 川勝徳次郎」。津逮堂明治後印本奥付「和

漢西洋書籍／文部省御蔵版翻刻書／学校用書籍類／仕入売捌処

／下京第五区辨慶石町／三条通御幸町西入五十六番地／津逮堂

大谷仁兵衛」⑨「蕃山全集 第三冊」（昭和一五 蕃山全集刊

行会刊）に杉浦印本を底本として翻字さる。

〔元禄頃〕刊（江戸）須藤権兵衛） 大一冊 天

〔後印〕（江戸 杉浦三良兵衛） 京斯都東北

〔後印〕書（封面・刊記・奥付共なし）

寛政八年六月〔印〕（大坂 賭春堂山口又一郎） 慶

享和一年印(京 錢屋利兵衛) 無

〔後印〕(大阪 文栄堂河内屋嘉七郎) 都

〔後印〕(大阪 河内屋源七郎) 福 〇追記一参照

〔明治〕印(京 川勝徳次郎) 筑都

〔後印〕(京 津逮堂大谷仁兵衛) 京

高葛阪(道昂) 関 大学国字解三卷

① ②葛阪先生関/大学国字解 全部三冊/皇都書坊 錦延堂蔵

(斯無は封面なし) ③明和八年春王正月望日/伊勢高道昂伯起

誤「刻大学国字解序」④大学国字解上(中・下)之卷/大学

章句序 ⑤単無18行(經文二行どり19字) 国字解字数不等。版

心は「上(上ノ下・中・中ノ下・下) 丁付」を刻するのみ

⑥上巻終。大学国字解中(下)之巻終 ⑦明和八卯九月吉日/

平安書林/西村市郎右衛門/大和屋善七/秋田屋忠兵衛(刊記

の前の上下匡郭に削去痕あるも異刊記本未見。無は三八丁裏

を裏表紙見返に貼付し刊記なし。

明和八年九月刊(京 錦延堂) 大三冊 京斯東筑(上欠)

〔後印〕 無

好華堂主人撰 松川半山画 大学〔啓蒙抄〕

①上層 大学啓蒙抄 ②好華堂主人注解/上層大学啓蒙抄/書林/摘文

絵入 松川半山図画/絵入大学啓蒙抄/好華堂「大学啓蒙

抄序」 誦法 ④大学(内題下に「此書は天下国家を治る大な

る道の/教なるゆへ大学と号しなり」と小字双行にて刻す)

朱熹章句(同じく小字双行にて「朱は姓/熹は名/なり」

…) ⑤単有6行經文11字内外国字解小双字数不等。総振板

名。上層に画図・注解あり。白口。中縫に「大かく」⑥大学

章句畢(尾題下小字双行にて「初に学ぶ大学なれば口近き/

書物也と忽せに思ふべからず也) ⑧奥付「嘉永二酉年九月

嘉永二年九月刊(京 摘文堂越後屋治兵衛) 中一冊 大阪天

満宮

古賀精里(樸)撰 大学章句纂釈・大学諸説辨誤

①纂「大学章句纂釈」・辨「大学章句諸説辨誤」(後印本「辨

に作るものあり) ②古賀精里先生著/大学章句纂釈/大学諸

説辨誤/江戸書肆 青藜閣・文化一一年修本以下此上部に横書に

て「文化甲戌冬改本」と入木。後印本は「慶元堂」を「千鍾房」と

改む ③寛政庚申九月古賀精里序「大学章句纂釈序」。文化八辛

未年陽月 土屋朗謹識「凡例」④大学章句纂釈/精里古賀樸淳

風著 受業(跨行)薩摩 石冢崔高/会津 土屋 朗/同校

(跨行) ⑤単有10行21字。白口。上象鼻に「大学纂釈」⑥大

学章句纂釈(辨)④大学諸説辨誤/精里古賀樸淳風著 受業

(跨行)薩摩 石冢崔高/会津 土屋 朗/同校(跨行) ⑤

単有10行20字。白口。上象鼻に「大学諸説辨誤」⑥大学諸説

辨誤 ⑦辛未冬十月 石原増島固識「合刻大学纂釈辨誤跋」

⑧奥付「文化九壬申年晩春開鐫/東都書肆/和泉屋庄次郎/村

上林兵衛/須原屋伊八。文化一一年修本、此前に「慶元堂蔵

板目録」六丁を付すものあり。後印本、書肆名を削去し「須原

屋茂兵衛/須原屋伊三郎」と入木。京東は奥付の前に「青藜閣

蔵版書目録」七丁を付し跋なし。但し京は跋を纂釈末に綴じ、

纂釈裏表紙見返に「浪華当時人名録（広告）／和漢書籍調進所
大阪北久宝寺町四丁目 泰文堂 塩屋長兵衛」を貼付す。⑨纂
釈二丁裏第五行「〇虚齋蔡氏曰……」を「〇惕齋鈔説曰……」。
辨誤一丁裏第三行「標按……」を「又曰按……」等と改む。⑩
〔日本〕四書註釈全書 学庸部卷（大正二二） 東洋図書刊行会刊
に文化一一年修本を底本として翻字さる。

文化九年三月刊（江戸 青藜閣須原屋伊八・慶元堂和泉屋庄次
郎） 大二冊 京 京慶都（存纂釈）筑（存辨誤）

文化一一年冬修（同） 京斯書静 内（存纂釈）斯筑天都福（存辨
誤）

〔後印〕（江戸 青藜閣須原屋伊三郎・千鍾房須原屋茂兵衛）
京国阪府 筑（存纂釈）京東（存辨誤） 福は封面・奥付とも
なし。板木が千鍾房に渡りし直後の刷印か

古賀侗菴撰 大学問答四卷

① ② 侗菴古賀先生著／大学問答／東都書肆 誠格堂発行 ③
文政丁亥臘月浪華篠崎礪撰「大学問答序」（整版） ④ 大学問答
卷之一（一四） ⑤ 単有10行20字小双。断句。線黒口 ⑥ 大学
問答卷之一（一四）終 ⑦ 己酉九月男増謹識（跋）（整版） ⑧
奥付「嘉永二年己酉暮秋刻成／愛月堂／蔵版／大坂書林 心齋
橋通安堂寺町 秋田屋太右衛門／東都書林 本町三丁目 和泉
屋善兵衛」 ⑨ 岩瀬文庫に自筆稿本あり。丙戌（文政九）八月の
朱訂を施す。

嘉永二年九月刊（江戸 誠格堂和泉屋善兵衛（愛月堂蔵版））

大四冊（木活） 京国斯書内無

小南栗齋（寛）撰 大学読原本

① ④ 大学読原本 壬生 栗齋 小南寛 著 ⑤ 双有10行20
字。断句。白口。下象鼻に「日益軒蔵」 ⑥ 尾題なく巻末に「嘉
永三年庚戌十一月壬生栗齋小南寛識」 ⑦ 江都 鳳齋 中根
琛誌（刊誤跋）。

嘉永三年一月（跋）刊（日益軒蔵版） 半一冊（木活） 京内

桜田（虎門）（質）撰 大学摘疏三卷

① ② 文政己卯新鐫／大学摘疏／数学書院蔵版。天保二年印
本「天保二辛卯九月補刻（横書）／虎門桜田先生著／大学摘疏／
仙台書肆 裝華房発兌」 ③ 文政己卯春三月／仙台桜田質序「四
書摘疏序」 ④ 大学摘疏卷一（一三）／仙台 桜田質仲文 撰

⑤ 双無11行23字。白口。下象鼻に「数学書院蔵版」 ⑥ 大学摘
疏卷一（一三）終 ⑦ 尾題の前に「仙台 西村治右衛門／江都
須原茂兵衛／発行」。次に「数学書院蔵版書目」一丁。修本以
下刊記を削去し、「装華房蔵版書目」仙台国分町
十九軒書肆 伊勢屋半右衛
門「二丁（無なし）、次に奥付「書肆／皇都寺町通松原下ル町
勝邨治右衛門／大坂心齋橋筋安堂寺町 秋田屋太右衛門／江戸
日本橋通南町二丁目 須原屋茂兵衛／同浅草茅町二丁目 須原屋
伊八／同芝神明前 岡田屋嘉七／同横山町三丁目 和泉屋金右
衛門／同通油町 鶴屋喜右衛門／名古屋本町通七丁目 永楽屋
東四郎／仙台国分町十九軒 伊勢屋半右衛門／発行（横書）」
を付す ⑧ 句点の位置や、序中「早已成稿」を、「早已成棄」
等改めたる所多し。

文政二年刊（江戸 須原茂兵衛・仙台 西村治右衛門（数学書

院蔵板) 大三冊 斯東北

〔修〕(仙台 裳華房伊勢屋半右衛門〈數学書院蔵板〉) 筑
天保二年九月〔印〕(仙台 裳華房伊勢屋半右衛門) 宮城県立

図無

佐藤延陵(貞吉)撰 大学発蒙

①旧大学発蒙 ②延陵佐藤先生述旧大学発蒙／起雲洞蔵版(起雲洞)入木の如く見ゆ) ③皇和安政六年歳次己未季冬之月朔／西肥 後学陣内元綱識之／江州台麓首楞嚴院官省之雪窓「大学発蒙題言」。皇和安政七年庚申春正月幾望／延陵 佐藤龍之進識之於／比叡山首楞嚴院兜卒谿郷坊南廂「註旧本大学序説」
④大学発蒙／延陵佐藤先生述 後学 陣内元綱校 ⑤双有8行18字小双。大黒口 ⑥大学終 ⑦嘉永甲寅孟冬既望 延陵佐藤貞吉跋(跋)。

安政七年一月序刊(起雲洞蔵板) 大一冊 京

佐藤直方撰 大学全蒙択言

③元禄二年閏正月十一日／佐藤直方序「大学全蒙択言序」 ④大学全蒙択言 ⑤単無15行20字。白口 ⑥大学全蒙択言單 ⑦佐藤直方全集 卷三(昭和一六 日本古典学会刊)に影印さる。

元禄二年閏一月序刊 大一冊 京

沢誼平撰 川旭齋吉田之秀画 大学図会五卷

① ②丙寅仲冬官准御免(横書)／親民以明明徳格物至善之訓／大学図会／治国而平天下齊家脩身為本 ③藤原環書「深西正義」戴聖古本。富士山図と誼平贊。文化四年書／正二位資矩

(序)。文化四年二月／刑部卿貞直しるす(序)。文化三のとし

ことの葉月日／誼平「大学図会序」 ④大学図会卷一(一五)

⑤単無行字数不等なれどほぼ9行経文16字。白口 ⑥大学図会

卷一(一四)終(五六尾) ⑦紀伊 須田元章謹撰(跋)。斯の後

印本なし、跋文中に「書林中川氏請……」とあり求板者が除去

せしものか ⑧奥付「刊語」斯文堂主人中川有恒(未画を欠

く)謹誌／京都 画工川旭齋吉田之秀／京都 劔剛氏 井上治兵

衛／文化四年丁卯秋九月発兌／書林／江戸 須原屋伊八／大坂

河内屋太助／皇都／北村四郎兵衛／林宗兵衛。文化五年印本、

刊年と書肆名を「文化五年戊辰春正月発兌／書林／江戸 須原

屋伊八／大坂 河内屋太助／皇都／北村四郎兵衛／小川太左衛

門／西村吉兵衛／林宗兵衛」と改む。後印本奥付「製本所 皇

都寺町通三条上ル二丁目／橘屋嘉助」、尚斯後印本は卷二・二

二丁迄。第二三丁は尾題のみにて本文なき為刷らずに一丁節約

せしものか。

文化四年九月刊(京 斯文堂林宗兵衛) 大五冊 国無

文化五年一月印(同) 京斯筑(卷二欠) 無

〔後印〕(京 橘屋嘉助) 斯

塩幸菴(分互)撰 講筵句義大学章句三卷

③延宝乙卯／春二月甲辰日書于旅館之茅舎「大学講筵句義序」。

讀大学法 ④講筵句義大学章句上(中・下)／奥州岩城後学塩

氏幸菴分互編輯 ⑤単無8行20字小双。粗黒口。中綴に「大学

講筵句義上(中・下)」 ⑥講筵句義大学章句上(中) 講筵

句義大学章句大尾 ⑦(自跋) ⑧尾題下に「下立売通堀川西橘

桔町 川崎治郎右衛門板行」。

延宝三年二月序刊(京 川崎治郎右衛門) 大三冊 京斯筑

実昌任撰 大学参考

③安永七年夏五月「大学参考序」 ④大学参考/下之総陽 実昌任撰 ⑤単無12行経文14字国字解低一格20字。白口 ⑥大学

参考書。

安永七年五月序刊 半一冊 筑福無

神晋齋(惟孝)撰 大学〔述義〕

①大学述義 ②神晋齋先生著/大学述義/不如学齋藏(阪大無のみに存す) ③天保癸卯孟春念八日東備神惟孝書于/平安不如学齋「大学述義序」。引続き「癸卯三月晋齋神惟孝自記(追記)」 ④大学/日本後学東備神惟孝伯友 述義 ⑤単無10行20

字小双。版心上端白口、下端黒口。中縫に「大学述義」、下象

鼻黒口部に陰刻にて「不如学齋藏」 ⑥大学述義終 ⑦なし。

弘化三年印本奥付「弘化三年丙午正月/官許/発兌/江戸書林西宮弥兵衛/大坂 秋田屋太右衛門/京都/石田治兵衛/巽善

右衛門」。

天保一四年三月序刊(京 不如学齋藏板) 大一冊 京斯書都

阪大福無 弘化三年一月〔印〕(京 巽善右衛門等) 慶東

① ②東郭先生著/大学闡/浪華書林 玉笥堂梓 ③寛延四年

辛未春既望/東都源大簡撰「大学闡自序」。寛延庚午孟冬/撰中善尚雅子逸甫題「大学闡叙」 ④大学闡/日本 東都 源大簡

子行父著/男 崇業子登父校 ⑤左右双有10行20字。白口 ⑥

大学闡終 ⑦泰阪 平文彪撰「大学闡引」(末に「辛未孟春之日」とあり) ⑧奥付「中庸闡 副出/寛延三年秋八月吉旦/浪

花書房 丹波屋半兵衛梓」。

寛延四年春序刊(大坂 玉笥堂丹波屋半兵衛) 大一冊 筑福無

鈴木〔離屋〕(服)撰 大学〔参解〕

①大学参解 ②享和癸亥年鑄 永楽堂/大学参解/我鈴木先生

……(ひろめ) 丹羽昴謹識(京谷村文庫・国のみに存す)。明治印本は此封面の初行を「愛知書肆 文光堂梓」と改む ④大

学 鈴木服参解 ⑤左右双有7行17字国字解小双30字内外。白口。中縫に「大学参解」 ⑥大学参解 享和癸亥五月 鈴木服

述 ⑦大学参解追加(国なし) ⑧京(谷村)国筑福は「尾瀨書

肆東壁堂藏版目錄」一丁。斯奥付「遠西觀象図説(広告)」名古

肆東壁堂藏版目錄」名古 一丁。斯奥付「和蘭内外要方(広告)/尾瀨書

肆 東壁堂欽白」。(岩瀬文庫藏は同様に「提耳談(廣告)/尾瀨

書肆 東壁堂欽白」と刻する奥付を付す。後印本、「尾瀨東壁

堂製本略目錄上紙摺薄用摺御好次第出来仕候」五丁、次に奥付「発行/書肆/江

戸…… 須原屋茂兵衛/同…… 山城屋佐兵衛/同…… 岡田

治七年七月／同年十二月刻成／書肆 尾張名古屋本町通十一丁目 秋田屋源助発兌。

享和三年五月〈跋〉刊（名古屋 東壁堂永楽屋東四郎）半一冊

京国斯筑天福

〔後印〕（同）斯

明治七年二月〔印〕（名古屋 文光堂秋田屋源助）都

砂川由信撰 大学序次考異

①天保大学序次考異 ②天保辛丑輯録佐野友可校／大学序次考異

／温故斎蔵板 ③天保辛丑仲冬庚申 物部砂川由信記「大学序次考異序」 ④大学序次考異／古本第一 ⑤双無10行20字。断

句。大黒口。修本以下版心下端黒口部当該初丁に、陰刻にて

「古本」「蔡本」に至る小題と「付録」とを加刻 ⑥大学序次考

異終 ⑦付録 ⑧奥付「板元 淡路津名郡下物部村 砂川順助

／板木支配 大阪高麗橋老丁目 赤松九兵衛（広告書目）。

後印本、都是奥付初行を削去し、書目中の「……八篇論文」を

「……八篇読本」と改む。斯無は「板元 淡路 砂川順助／書

林 大阪 赤松九兵衛（斯は書目中「近刻」の文字二箇所を削

去）。

天保一二年一月序刊（大阪 赤松九兵衛〈淡路 砂川氏温故

斎蔵板〉）大一冊 京（次掲二書と合一冊・奥付なし）筑東

〔修〕（同）斯都福

〔後印〕（同）斯都（斯は更に後印か）無

同人撰 大学〔章句講本〕

①嘉永大学章句講本 ②天保辛丑新定佐野友可校／大学章句講本

／温故斎蔵版 ③大学章句序 砂川由信講本 ④大学大、旧音案。今読如字。章句講本 ⑤単無8行17字小双。大黒口。中縫に「大学章句講

本」 ⑥大学章句講本終 ⑦朱熹註記（跋）。天保辛丑季冬辛巳

物部砂川由信記（跋） ⑧京二九丁裏一版元 淡路津名郡下物部

村 砂川順助／版木支配 大阪高麗橋老丁目 赤松九兵衛／

（広告書目）、次に奥付「嘉永七年甲寅七月発行／大阪書林／

播磨屋九兵衛／同長兵衛／河内屋清七」。内由信跋なく奥付「嘉

永七甲寅年／閏七月／輯者 淡路物部 砂川順助／大阪北葦屋

町式丁目 播磨屋九兵衛のみ。後印：修本二九丁裏一版元 淡

路 砂川順助／書林 大阪 松雲堂清七（「広告書目」）、奥付

「書肆／京都二条通 大和屋茂平／同東洞院二条上ル 田中屋

治助／江戸芝神明前 岡田屋嘉七／大阪北久太郎町 河内屋清

七／長寄袋町 岡村屋利兵衛／同博多町 荒木屋作兵衛／徳島

免許町 紀伊国屋三右衛門」 ⑨修本五丁表第七行「理」を陰刻

に改め、匡郭外に校注を加える等改刻多し。修数次に亘るか。

嘉永七年閏七月刊（大阪 播磨屋九兵衛〈淡路 砂川氏温故斎

蔵板〉）大一冊 京（三書合綴）内

〔後印〕（大阪 松雲堂清七〈淡路 砂川氏温故斎蔵板〉）筑

〔修〕（同）斯無

同人撰 格物辨義二卷

①嘉永格物辨義 ②天保壬寅撰述佐野友可校／格物辨義／温故斎

蔵版 ④格物辨義上（下） ⑤双無10行20字。大黒口 ⑥格物辨

義上（下）終 ⑦天保壬寅孟春庚戌 物部砂川由信記（跋） ⑧

板元 淡州 砂川順助／書林 大阪 松雲堂清七。

嘉永刊（大阪 松雲堂清七〔淡路 砂川氏温故斎藏板〕） 大一

冊 京（三書合綴・跋記なし） 斯筑無

関谷潜撰 大学新註

① ② 関谷敬藏先生著／大学新註／大阪書鋪 賭春堂梓。文化一二年修本「文化十一年再校重鐫（横書）／関敬藏先生著／（以下同前）」 ③ 関谷潜識「大学新註叙例」。修本は「関深識」と改む ④ 大学新註／筑紫 関谷潜敬藏著。修本「関深敬藏著」と改む ⑤ 双有9行18字小双。白口 ⑦ 天明戊申夏五月筑紫関谷潜書于因幡淡／水楼（跋）。寛政甲寅冬閏十一月 関谷潜再識（跋）。修本は「天明戊申夏五月 関深識（跋）」、「文化甲戌春正月 関深重識（跋）」 ⑧ 関谷敬藏著述（書目）／寛政七年乙卯春三月／大阪書肆 心齋橋通北久太郎町 山口又一郎。次に裏表紙見返に「賭春堂藏書目録」貼付。修本「寛政七年乙卯春三月月原刻／大阪書肆 心齋橋通北久太郎町 山口又一郎」（著述書目を削去し跋の後に加刻）。

寛政七年三月刊（大阪 賭春堂山口又一郎） 大一冊 京国版府福

文化一一年一月跋修（同） 京筑

釈大我絶外撰 大学考付三繇訓

① ② 孤立道人述／大学考／洛東夢菴藏（阪大無欠付本のみに存す） ③ 宝曆戊寅夏五月／武城牧春卿褒拜書於洛東白荷亭「大学考序」。宝曆戊寅夏六月／武陽前吉祥台寺金龍道人积敬雄／書於洛東橋居「大学考序」。宝曆七年歲次丁丑秋八月／山南前正法教寺积大我絶外自題於／洛東夢庵「大学考序」（綴順異なるもの

あり） ④ 大学考／日本 釈大我絶外 述 ⑤ 双有10行20字。

粗黒口 ⑥ 卷末に「宝曆丁丑孟秋既望閑筆於洛東夢庵詩曰／……／大学考終」 ⑦ 宝曆丁丑秋八月／釈田中天理稽首撰「大学考後序」。第二冊「三繇訓」（③ 宝曆戊寅春二月／釈田中天理

拜稽首撰「三繇訓序」 ④ 三繇訓／釈大我絶外 述（修本「日本积……」と加刻） ⑤ 版式同前 ⑥ 三繇訓終 ⑦ 宝曆戊寅孟夏浪華増輝山主釈玄道撰「三繇訓跋」 ⑧ 奥付「宝曆七歲丑十月吉且／皇都書林 知恩院門前 沢田吉左衛門／大坂 心齋橋

筋 敦賀屋九兵衛／江戸 通石町十軒店 植村藤三郎（阪大二部「大学考」に付す他「三繇訓」奥付）。無有付本は奥付なし ⑨ 大学考・三繇訓各々の単行もありしか。宝曆八年六月序刊（京 沢田吉左衛門等〈京 夢菴藏板〉） 大二冊 京 阪大無（欠付）

〔修〕（京 沢田吉左衛門等） 阪大無（奥付なし） 京（存付のみ） 他に京都内福に付を欠くものあり

平諭撰 大学述

① ② 翻刻最善／大学述／聚珍板印行（①② 整版） ④ 大学述 此書引証餘論省略不載故旧名曰翻／下総 平諭 稿 ⑤ 単有9行20字小解然以本旨述短失之意故改名曰述 ⑥ 単有9行20字小双。白文。白口 ⑥ 大学述終／門人 江西側 同校（江西側に並べて「肥篤／楠就／永田繁／端山則之／平匡敎」／門人

天竺章 刻字 ⑧「洗心堂藏聚珍板書目」一丁。

〔江戸後期〕刊（洗心堂藏板） 大二冊（木活） 京国書内阪府

滝（沢）無量（清）撰 古大学図解（外題）

① ③ 文化十三年丙子秋九月 關東 亀田興撰（序）。凡例。加

賀 大田元貞識(序) ④表形式で整理せる「三綱領八条目之図表」⑥上段に「河三亥書/村嘉平刻」、下段に「邨嘉平刻/関克明書」⑦時文化十三歳次丙子仲/秋望前一日/大日本 雲州 滝清謹撰(跋) ⑧国匡郭外に「東都書舖 馬喰町三丁目 若林清兵衛発行」と刻す(東は地名のみ残り天なし)。
文化一三年九月序刊(江戸 若林清兵衛) 一舖 国天東

千賀信撰 大学劄記

① ③天保甲午陽月 東奥安積信撰「大学劄記序」 ④大学劄記/忍城 千賀信述 ⑤左右双有10行20字。粗黒口 ⑥大学劄記終。

天保五年一〇月序刊 大一冊 京斯筑東福無

遅塚〔速叟〕(久徳)撰 大学診解

① ③天保六年乙未春二月 遅塚久徳識「大学診解序」 ④大学診解/遅塚久徳 述 ⑤単無10行23字国字解低一格30字内外不等。経文白文。白口。

天保六年二月序刊 半一冊 国内無

千葉松堂(繁伯)撰 古本大学講義七卷

① ②松堂千葉先生著/執齋三輪先生校/古本大学講義/書舖柳枝軒發行 ③享保十七年壬子春 執齋三輪希賢序「古本大学講義序」松堂繁伯誌(序)、(序版心「大七ノ十三」「大七ノ十四」とあり、初め巻七の次に綴じる予定なりしか。修本削去(但し一部削り残しあり) ④古本大学講義第一(一七) ⑤無12行経文19字国字解低一格26字内外。版心下部に「天幾ノ幾」

⑥古本大学講義一終。古本大学講義第二(一七)終 ⑧木記「享

保十八癸丑歳孟春吉日版行/京都 六角通御幸町西入 茨城多左衛門/江戸 日本橋南二丁目 小川彦九郎」⑨「王学雜誌」に翻字さる。

享保一八年一月刊(江戸 柳枝軒小川彦九郎・京 茨城多左衛門) 大六冊 国阪府

〔修〕(同) 国斯筑大阪府福 筑阪大福は大三冊 東北巻五

一七

家田〔大峰〕(虎)撰 大学〔註〕

①大学 家虎註 ③安永六年丁酉九月庚午/信濃 家田虎叔貌序「註大学序」 ④大学篇題之義。具於序文。/日本 信濃 家田虎 註 ⑤

双有9行18字小双。白口。上象鼻に「大学」、下象鼻に「環堵室」 ⑥大学註終 ⑧「環堵室著書目錄」一丁、奥付「安永六年

丁酉十一月刻/家田多門著/東都書肆 芝宇田川町 藤木久市 発行。

安永六年一二月刊(江戸 藤木久市(環堵室蔵板)) 大一冊

都

手嶋毅庵講 手嶋毅庵先生大学首章講義〔聞書〕

①大学首章講義 ④手嶋毅庵先生大学首章講義 聞書 ⑤単無9行字数不等。版心は丁付のみ ⑥大学首章講義聞書畢。

〔江戸後期〕刊 半一冊 福

道与居士撰 大学誠意

① ③享保十四己酉歳五月吉辰/転妙覚一統道与居士/行年八十四歳序之「大学誠意自序」 ④大学誠意 大学トハ大道ヲ学フ謂 誠意トハ大道ヲ得ル謂

⑤単無13行経文二行どり15字内外国字字数不等。中縫に「誠

意」。版心下端は黒魚尾にて黒口の如くす ⑦于時享保十四^己年五月吉辰／軼妙寛一統道与居士(跋) ⑧追記二参照。

享保一五年一月刊(京) 松華堂藤屋武兵衛) 大一冊 斯京

〔中江〕藤樹撰 知止歌・知止歌〔小解〕(小)石川道竹撰

①藤樹先生知止小解 ③藤樹先生知止歌序説 ④知止歌 原文三十八句「一丁。」「知止歌 小解」⑤単無(小解) 10行19

字。版心丁付のみ ⑥知止歌小解終 ⑦于時享保八癸／卯歲冬

月洛下諸生某敬書之(跋) ⑧題尾の前に焼印「小解 石川道

竹／開板 京高倉通二条下町 石川道安」。次印本追記三参照。

享保八年冬跋刊(京) 石川道安) 大一冊 筑

享保九年六月〔印〕(京) 板木屋七兵衛) 福

長尾〔赤城〕(龍)撰 石經大學解

① ③寛政己酉冬十一月南至前一日／關東布衣 龜田興撰「石

經大學序」。東都南芝 田中元福謹撰「石經大學序」④石經大學

解／日本 長尾龍 著 ⑤単有10行22字。断句。版心上端白口、

下端黒口 ⑦時／皇和寛政己酉冬十月／信州 早稲寺正元謹撰

〔跋〕。

寛政一年一月序刊 大一冊 筑東北

中川伯仙撰 四書正名大學

①四書正名 大學 ④四書正名大學／中川伯仙 学 ⑤単有9

行19字小双。白口。上象鼻に「四書正名」、中縫に「大學經」

⑥四書正名大學 ⑧奥付「朱印「潤惕／齋／臧版」の下に「此

印章^{有之者眞無之者眞}／宝曆六丙子春三月吉日／江都書林 日本橋南老町

目 須原屋茂兵衛発行」。

宝曆六年三月刊(江戸 須原屋茂兵衛(潤惕齋藏板)) 大一冊

筑

中島石浦(恒久)撰 君道大學要解

①^君大學要解 ②石浦先生著^君大學要解／京都書肆 宝賢堂

梓行(福のみに存す) ③天明八年歲戊申春正月刻就而罹天災

同夏／四月之吉改授梓云／加賀 中島恒久謹書「君道大學要解

序」④君道大學要解／加州 中島恒久謹著／同 林 正直／

同 岸 一学／校訂 ⑤双有10行20字。白口。上象鼻に「大學

要解」⑥君道大學經一章註解畢。君道大學要解答客畢 ⑦答

客 ⑧奥付「金沢中嶋半助著／論語講説十冊 嗣出／天明八

年／書林／江戸 須原屋茂兵衛／大坂 藤屋弥兵衛／京都

松浦善兵衛」。後印本刊年の下に「京 林権兵衛」と刻する紙を

貼付 ⑨天に本書刊行後の再稿かと思われる版下本あり、序な

く著者の名を「尚」と改め、伝一一丁を答客の前に置く。亦

「寛政三年辛亥春三月／加賀 中島尚序」と識す「大學講説」の

版下稿本あり、寛政一二年刊「中庸講説」奥付に「近刻」とあ

るも未刊に終りしものか。

天明八年刊(京) 宝賢堂松浦善兵衛) 大一冊 京筑天都福

〔後印〕(京) 林権兵衛) 無

中島保武撰 古文大學解

① ②古文大學解 完／得英堂藏 ③文化丁丑歲秋八月／中島

保武士久謹識「解古文大學序」④古文大學解 ⑤単無8行16

字小双。白口 ⑥古文大學解畢。

文化一四年八月序刊(得英堂藏板) 大一冊 斯福

西岡天津(淵)撰 大学解約覧

- ① ② 參州吉田儒官天津西岡先生編／大学解約覧／尾張書肆
湖月堂老舖 ③ 文化乙亥夏五月／尾張後学 秦鼎撰「大学解約
覧序」 ④ 大学解約覧／日本 三河 西岡淵 撰 ⑤ 双有9行
18字小双。白口 ⑥ 大学解約覧終 ⑧ 中庸解約覧 近刻／青藍
館藏版(朱印「青藍／館藏」)／文化十四丁^丑孟春吉日／尾州書林
名古屋呉服町六丁目 井沢屋和助。

文化一四年一月刊(名古屋 湖月堂井沢屋和助へ吉田 青藍館
藏板) 大一冊 斯筑福無

白靈泉撰 大学訓釈

- ① ④ 大学訓釈／白靈泉 著 ⑤ 双有9行20字。粗黒口 ⑥ 大
学訓釈終 ⑦ 惟歳文化丙寅孟夏／北筑醫官津田信勇純謹誌「跋」。
文化三年四月跋刊 大一冊 阪大

八田〔華陽〕(綵)撰 大学説

- ① ③ 文化十有一年五月哉生明／三河 八田繇子「大学説序」
④ 大学説／三河 八田繇著 ⑤ 単有10行23字。白口 ⑥ 大学説
畢。

文化一一年五月序刊 大一冊 筑福無

〔林羅山〕撰 大学鈔稿

- ① ② (ひろめ)／大学鈔稿／東都書肆 小西堂梓 ③ 己酉孟
冬南歌子題「序」(序中に「書賈小西堂新刻大学鈔稿徴／序於余
其書不題撰者姓名……」……按羅山集寛／永七年孟夏撰大学解
正保二／年二月撰大学倭字解又聞有／大学大旨及大学抄此抄也
其／林文敏先生……」と) ④ 大学鈔稿 ⑤ 単無9行16字国字

解不等。白口 ⑥ 大学鈔稿畢 ⑧ 奥付「平秩東作翁著 近刻／

商人道しるべ 全二冊(此二行の下にひろめ)／寛政元年己酉
十二月／東都書肆／室町三丁目 須原屋市兵衛／小伝馬町三丁
目 和泉屋幸右衛門／同町 遠州屋清右衛門」。

寛政一年一二月刊(江戸 小西堂遠州屋清右衛門) 半一冊

京筑福

平賀中南(晋民)撰 大学発蒙

- ① ② 中南先生著／大学発蒙／皇都書肆 臨泉堂發行(京のみ
に存す) ④ 大学発蒙／皇和 安藝 平賀晋民房父 著 ⑤ 単
有10行21字。白口。初・末丁下象鼻に「日新堂藏」 ⑥ 大学旧

文の後にあり ⑦ 大学旧文(白文) ⑧ 奥付「日新堂藏板／天明

乙巳春／京堀川通錦小路上町 文台屋次郎兵衛發行」。

天明五年春刊(京 臨泉堂文台屋次郎兵衛(日新堂藏板)) 大

一冊 京斯(藤田幽谷書入本) 福無

〔藤原惺窩〕撰 大学逐鹿評二卷

- ③ 大学要略 逐鹿評上 ④ 大学逐鹿評(逐鹿評下) ⑤ 単無11
行11字。国字解。白口。中縫に「逐鹿上(下)」 ⑥ 大学逐鹿上
終(逐鹿評下終) ⑧ 寛永七年^{庚午}仲冬吉辰 ⑨ 藤原惺窩集 卷
上(昭和二三 国民精神文化研究所刊)に翻字さる。

寛永七年一二月刊 大二ツ切二冊 筑内

春晓斎逸見恒草画^入 大学童子訓(封面)

- ② 大学童子訓 会玉堂(鳳凰に草花を描く中に共に双辺に
^入て囲み朱刷) ③ 口絵中に「経書に国字を以て注しかつ画を以
て／交るは専ら児童をしてあどなき時／より聖道を知らしめん

とす……」④大学章句序(大学) 朱熹章句(朱熹)。上層に画図・注解 ⑤単有5行9字。総振仮名。白口。中縫に「大学童子訓」⑥大学童子訓終(上層)。大学章句終(下層) ⑦上層は画図、下層に「春曉齋逸見恒章画／文化六年己八月／京都書林／北村四郎兵衛／小川多左衛門／同五兵衛／三木安兵衛／中川藤四郎／西村吉兵衛」⑧本文は行書にて記し総振仮名付き。本文左傍に階書を載せ手習の手本とす。

文化六年八月刊(京 会玉堂西村吉兵衛) 半一冊 国学院

星野〔熊獄〕(璞) 録 芝子述 大学〔録〕

④大学／星野璞録 ⑤単有10行24字国字不等。白口。版心丁付のみ ⑧卷末に「博士士審問之……」(方形朱印九行一〇字)を鈐し、「井上清風刻」⑨巻頭に「余これを芝子に聞曰……」。

〔江戸後期〕刊〔証学堂蔵板〕 大一冊 福

同人録 嚴卿述 大学〔証〕

①大学証 ②女護島 高岡慎識「大学証序」(初印本・寛政三年印本なし) ④初印本「大学序」。修本「序」を削去し「大学」⑤左右双有9行20字。白口。版心下象鼻に丁付のみを刻す ⑥尾題なく卷末に「星野璞輯録」⑧卷末(二〇丁裏)三一六行中央を木記の如くし前出朱印を鈐す。修本削去。都は「証擲学著述録 懐河 青信有誌」二丁、斯福は同三丁(此方後印)を付す。寛政三年印本は奥付「寛政三年五月／日本橋通一町目 須原屋茂兵衛」のみ ⑨巻頭に「嚴卿曰……」。

〔江戸後期〕刊〔証学堂蔵板〕 大一冊 無
〔修〕(同) 斯都福

寛政三年五月〔印〕(江戸 須原屋茂兵衛) 筑

松浦交翠窩(黙)撰 大学章句授蒙資講五卷

①大学授蒙資講一(一五上・五下) ②元禄四年龍集辛未之歲／臘月吉旦孚軒林懋小愆父序「大学授蒙資講序」(斯欠) ③大学章句授蒙資講卷之一(一五)／番易交翠窩松浦黙成之父 輯 ④單無10行20字。白口。版心「大学 授蒙資講卷幾 丁付」 ⑤大学章句授蒙資講卷之一(二・四)終。一三畢。卷五にはなし ⑦元禄四年歲癸辛／未仲秋穀旦門人佐安護書「大学授蒙資講跋」(斯欠) ⑧元禄五申歲九月吉辰／神雉銅駝坊書肆 村上平楽寺板行(上下の匡郭に削去痕あるも異刊記本未見)。

元禄五年九月刊(京 村上平楽寺) 大六冊 斯阪大

馬〔淵〕嵐山(会通)撰 大学微言

① ②嵐山馬仲觀先生著／大学微言／緑竹園蔵 ③寛政七年秋九／月三品源准榮序「大学微言序」 ④大学微言／日本 京師馬会連仲觀 述／門人 泰英榮子彦 校 ⑤單有10行20字。断句。白口。本文上下冊共巻頭卷末下象鼻に「緑竹園蔵」⑥大学微言終 ⑧奥付「嵐山先生著述目／寛政七年之冬／皇都書肆林宗兵衛發行」。筑は上冊裏表紙見返に以下の引札を貼付。「大入天龍丸……」家伝製薬所東都養神堂 本家弘所 江戸下谷池之端印町 書林 岡村屋庄助、後印か亦後人の贗しらか。後印本、奥付の前に「皇都書肆五車樓蔵版略書目 御幸町 菱屋孫兵衛」一丁を付す。

寛政七年冬刊(京 林宗兵衛〔緑竹園蔵板〕) 大二冊 京斯筑
福

〔後印〕(京 五車楼菱屋孫兵衛) 斯

三国幽眠撰 大学傍訓

① 註^標 大学傍訓 ② 三国幽眠撰 / 註^標 大学傍訓 / 平安 一洗堂藏梓

③ 明治二十三年三月 不肖男 一燈謹識「序説」 ④ 大学傍訓(以下小字三行にて「大音/泰尊/称也」。内題大の字には声点を刻す) / 平安 三国幽眠述 門人(跨行) / 由良正秀 / 小泉武則 / 同校(跨行) ⑤ 左右双有9行18字。白口。下象鼻に「一洗堂」。上層に標注 ⑥ 大学傍訓^終 ⑦ 明治廿三年四月五日印刷 / 同年同月十四日出版 / 印刷兼 / 発行者 若林茂一郎 / 京都市上京区二条通

柳馬場東入晴明町十番戸 / 著述者 三国幽眠 / 京都市上京区室町通丸太町下ル道場町十二番戸。

明治二三年四月刊(京 若林茂一郎(京 一洗堂藏板)) 大一

冊 京都府綜合資料館

遠屋須撰 達子大学解

① ③ 安永六年丁酉春正月 / 日本 山城 遠屋須敬序「達子大学解序」 ④ 達子大学解 / 日本 山城 遠屋須述 ⑤ 双有10行16字国字解低一格19字。白口。下象鼻に「精一堂藏板」 ⑥ 達子大学解終 ⑦ 安永六年丁酉春正月 / 兵庫 精一堂藏版。安永六年一月刊(兵庫 精一堂藏板) 大一冊 筑福無

皆川(淇園)(愿)撰 大学解解付大学文脈分属図

① ② 平安皆川愿学 / 大学解解 / 有斐齋藏(四書合印本と思われもののは欠) ③ 大学文脈分属図(初印本本文の後に綴ず)

④ 大学解解 / 平安 皆川愿 伯恭 学 / 安威廷良子頭 / 石田照逸光 / 豊岡謙 君柄 / 中川信 而逸 / 同(石田の下隔一格) /

校(豊岡の下同) ⑤ 单有10行20字小双。白口 ⑥ 大学解解終

⑦ 奥付「安永乙未秋八月 / 京都寺町五条上ル町 天王寺屋市郎兵衛 / 江戸日本橋南一丁目 須原屋茂兵衛 / 大坂高麗橋一丁目 藤屋弥兵衛 / 発行(横書)」。後印本奥付「論語解十卷 嗣出 / 安永乙未秋八月 / 京寺町通五条上ル町 天王寺屋市良兵衛 / 江戸日本橋南一丁目 須原屋茂兵衛 / 大坂高麗橋一丁目 富士屋弥兵衛 / 発行(横書)」。四書解解合印本と思われるもの奥付なし。

安永四年八月刊(京 天王寺屋市郎兵衛等(京) 有斐齋藏板) 大一冊 京福

〔後印〕(京 天王寺屋市良兵衛等(京) 有斐齋藏板) 大阪

天満宮都

〔後印〕四書合印本の別れか) 京斯東

同人撰 同

① 外題下に「新刊」と刻するものもあり ② 前出封面「有斐齋藏」の下に「新刊」と入木(文化九年印本以下なし) ③ 大学文脈分属図(前掲書の板木をそのまま使用) ④ 大学解解 / 日本 平安 皆川愿伯恭学 ⑤ 单有10行20字小双。白口 ⑥ 大学解解終 ⑦ 文化甲子冬十月 / 平安皆川允祥撰(跋) ⑧ 初印本奥付なし。文化九年印本奥付「文化九年壬申五月 / 平安書肆 / 北村四郎兵衛 / 葛西市郎兵衛 / 高橋久兵衛」(右下 匡郭外に耳格の如くして「学庸論語解解奥書」と刻す)。後印本奥付なく、「皇都書肆 五車楼藏版略書目 ^{京御幸町 御池下ル} 菱屋孫兵衛」一丁を付す。文化一年一〇月跋刊(京) 有斐齋藏板) 大一冊 京(淇園自

筆書入本) 都阪大

文化九年五月〔印〕(京 高橋久兵衛等) 筑阪大

〔後印〕(京 五車楼斐屋孫兵衛) 東北

源周台(公園) 撰 大学詠

①五書 ②其一大学詠 ③大日本文化辛未三月司鑿/明経学生源公園題

〔五書題辭〕(題辭中に「侍読車廟/嘉(搦頭一格) 応朝廷学庸

抽繹論孟孝経/進 呈宝府五書」とあり)。大日本文化戊辰仲冬

甲子日撰于浪/華城西北岨岸之上明義堂/周台源公園「大学詠

題辭」 ④大学詠/日本 浪華 源公園 著/女子 姫松

輯/門人 関高堅 校 ⑤単有10行16字。白口。下象鼻に「明

義堂」 ⑥大学詠終 ⑧奥付「水都次官著/文化八年辛未十二月

立春刻/浪華 明義堂蔵」。

文化八年二月刊(大坂 明義堂蔵板) 大一冊 都

箕浦〔靖山〕(世亮) 撰 大学〔説〕

①大学説 ②因州箕長孺先生著/大学説/浪速書肆 定栄堂発

兌 ③安永四年乙未六月因幡箕浦世亮題(序) ④大学 ⑤単

有9行20字。白口。中縫に「大学説」 ⑥尾題なく巻末に「因

幡伊良子憲校」 ⑦享和四年甲子之夏門人十街九成子韶謹撰

(跋) ⑧奥付「文化七年庚午仲秋成刻/因州 箕浦家蔵版/製

本発兌 浪速心齋橋南江四丁目 吉文字屋市右衛門」。

文化七年八月刊(因州 箕浦家蔵板) 大一冊 筑都

〔村瀬栲亭〕(源之熙) 撰 大学集義

① ③安永庚子十月朔/平安源之熙撰「大学集義序」 ④大学

集義/平安 源之熙 著 ⑤左右双有9行19字。白口。下象鼻

に「黄花園蔵」 ⑥大学集義終 ⑧奥付「天明元年辛丑六月/黄

花園蔵板(下に朱印「黄花書/屋印記」を鈐す)天一部朱印な

く後印本か) /京師書肆 相之町御池上ル町 林権兵衛発行」。

天明一年六月刊(京 林権兵衛(黄花園蔵板)) 大一冊 京天

福無

村田庫山(常道) 撰 大学正義

① ②文政己卯秋鐫(横書)/平安村田氏学/大学正義/辨大

学名付 醉古堂蔵 ③文政己卯秋七月穀旦/伊藤弘济叙「大学

正義序」。戊寅初夏之吉黙/斎書之山内村舎「大学正義序」。福

無は弘济序なく、代りに「文政二年己卯十月壬子/中島徳規撰

『大学正義序』あり ④大学正義/総論/日東 村田常道 述

(大学正義/日本 洛陽 村田常道述) ⑤単無11行16字。白口

⑦付録/大学非学/宮之名/辨 ⑧庫山山人著書。奥付「朱印

『醉古/堂蔵』(朱印の下に「四方購/求之人□/認此印、為

記若□/印者皆係偽刻」とあり)。文政三年印本、庫山書

目の次に「尚書堂蔵板書目」四丁(福無なし)。奥付「朱印『醉

古/堂蔵』(以下に「每部有図章記号/無是者皆屬贋本」)/文政

三庚辰春新刻/書肆/大坂 加賀屋善蔵/江戸 須原屋平助/

京都 堺屋仁兵衛」。

文政二年秋刊(京) 醉古堂蔵板) 大一冊 天

文政三年春(印)(京 尚書堂堺屋仁兵衛(京) 醉古堂蔵板)

斯筑福無

室駿台(直清) 撰 稻(葉) 華溪(貞隆) 書 大学和歌

(序題)

① 大学和歌。後印本「大学詠哥」 ③ 寛政八歳丙辰秋七月／華溪
稻貞隆藏并書「大学和歌序」 ④ 明明徳／皆人のもと心／は
万寿かゝみ み／かゝはなとかくもり／はつへき ⑤ 無無行字
数不等。版心なし ⑥ 尾題なく巻末に「右詠歌十八首／滄浪室
直清／華溪稻貞隆書」 ⑧ 寛政八歳次丙辰秋八月／東叡山麓下
谷町 花屋久次郎。後印本は「東叡」迄を残し以下削去、入木
にて「山城屋佐兵衛／山城屋清七」を加刻 ⑨ 同人撰「五常名
義・五倫名義」(外題「五常五倫名義」)〔江戸〕刊(大坂 河内
屋木兵衛)に「付」として刻さる。追記四参照。

寛政八年八月刊(江戸 花屋久次郎) 特大一冊 天
〔後印〕(江戸 山崎屋清七・山城屋佐兵衛) 大一冊 福無
同人(室英賀(直清)撰 大学章句新疏二卷

① ② 初め封面なし。天明六年通修本以後「鳩巢室先生著／大
学章句新疏／授陽書林 蒼生堂。河内屋源七郎印本以後「蒼生
堂」を「前川文栄堂藏」と改む(但し河内屋和助印本には封面
なし) ③ 日東元禄壬午十月丁未英賀室直清序「大学章句新疏
序」。「大学章句序／日東 後学英賀室直清新疏」(綴順を逆にす
るものあり) ④ 大学章句新疏卷上(下)／朱子章句／日東 後
学英賀室直清新疏 ⑤ 単有9行経文16字章句20字疏小双20字。
白口 ⑥ 大学章句新疏卷上(下) ⑦ 巻末に「直清始為一大
学疏、以資講習……」 ⑧ 初印本なし。修本巻末に「印板既成
檢之経文章句知猶識也之下脱／推極吾之知識欲其所知無不尽也
十四字／俟重刊乃補入／東都書林／參河屋半兵衛求板」と加
刻。通修本此加刻箇所を削去し、七丁表に標注で脱字を補う等

改め、「中庸章句新疏」全部二本／天明六年丙午八月再治／書林
／京都 武邸嘉兵衛／江戸 西邸源六／大阪 泉本八兵衛)。
斯東北阪大無は此後に「崇高堂藏版(板)目録 大阪心齋橋筋
南久宝寺町 河内屋八兵衛」一丁又は二丁を付す。後印本は刊
記同前、奥付を異にす。堺屋定七等印本「書林／江戸日本橋通
巷丁目 須原屋茂兵衛／同日本橋通二丁目 山城屋佐兵衛／同
芝神明前 岡田屋嘉七／同中橋広小路 西宮弥兵衛／同浅草茅
町二丁目 須原屋伊八／大阪南久宝寺町心齋橋南へ入 堺屋新
兵衛／同順慶町心齋橋南へ入 堺屋定七」。河内屋茂兵衛等印
本「書林(横書)／京都寺町通仏光寺 河内屋藤四郎／江戸日本
橋通巷丁目 須原屋茂兵衛／同式丁目 山城屋佐兵衛／同式丁
目 須原屋新兵衛／同四日市 山城屋政吉／同本石町十軒店
英大助／同下谷御成道 英文藏／同大伝馬町式丁目 丁子屋平
兵衛／同芝神明前 岡田屋嘉七／大阪心齋橋通本町角 河内屋
藤兵衛／大阪心齋橋筋博労町角 河内屋茂兵衛」。前川文栄堂
河内屋源七郎印本(静し封面なし)「三都／発行／書肆／江戸芝
神明前 岡田屋嘉七／同日本橋南巷丁目 須原屋茂兵衛／同日
本橋南式丁目 山城屋佐兵衛／同中橋広小路 西宮弥兵衛／同
浅草茅町二丁目 須原屋伊八／同芝神明前 和泉屋吉兵衛／京
三条通御幸町 吉野屋仁兵衛／大坂心齋橋通北久宝寺町 河内
屋源七郎(最後の二肆の下に「板行(横書)」。(大阪大)「発行
／書肆／江戸日本橋南巷丁目 須原屋茂兵衛／同二丁目 山城
屋佐兵衛／同二丁目 須原屋新兵衛／同芝神明前 岡田屋嘉七
／同 和泉屋吉兵衛／同浅草茅町二丁目 須原屋伊八／同両国

横山町壹丁目 出雲寺万治郎／同下谷御成道 紙屋徳八／尾州名古屋本町三丁目 菱屋藤兵衛／大坂心齋橋通北久宝寺町 河内屋源七郎板（天は此前に「浪華書林前川文栄堂藏版書目 心齋橋通北久宝寺町 河内屋源七郎」二丁を付す）。亦福井市立図書館に「（広告書目）」御書物所 前川文栄堂 大阪心齋橋通北久宝寺町 河内屋源七郎」を付すものあり。河内屋藤兵衛印本「新宮鬼国先生著書目録」書林 京都 若山屋茂 大坂 河内屋藤兵衛 二丁の後に奥付「書林（横書）／京都寺町通仏光寺 河内屋藤四郎／江戸日本橋通壹丁目 須原屋茂兵衛／同貳丁目 山城屋佐兵衛／同貳丁目 須原屋新兵衛／同本石町十軒店 英大助／同浅草（茅町）貳丁目 須原屋伊八／同芝神明前 岡田屋嘉七／同神田旅籠町壹丁目 紙屋徳八／大坂心齋橋通博労町角 河内屋茂兵衛／同心齋橋通本町角 河内屋藤兵衛」。河内屋和助印本「江戸日本橋南通二丁目 山城屋佐兵衛／同芝神明前 岡田屋嘉七／同河内横山町三丁目 和泉屋金右衛門／同芝神明前 内野屋弥平治／同日本橋通二丁目 須原屋新兵衛／同室町二丁目 大坂屋藤助／京都三条通御幸町角 吉野屋仁兵衛／尾州名古屋本町通 永東屋東四郎／大坂心齋橋通安土町 河内屋和助板」。

元禄一五年一〇月序刊 大一冊 京

〔修〕（江戸 参河屋半兵衛） 岩瀬文庫京
天明六年八月通修（大阪 菅生堂泉本八兵衛） 大二冊 斯筑
東東北阪大無

〔後印〕（大阪 堺屋定七等） 斯阪府

〔後印〕（大阪 河内屋茂兵衛等） 京国福

〔後印〕（大阪 前川文栄堂河内屋源七郎） 静天阪大福井市立

図

〔後印〕（大阪 河内屋藤兵衛） 都

〔後印〕（大阪 河内屋和助） 阪大

矢部騰谷（保惠）撰 大学原文・大学集義二卷

① 四書 集義 大学原文。大学集義 上（下） ② 騰谷先生著 四書 集義 同集義

／全三冊 集義塾藏梓（原文と集義第一冊にあり） ③ 文政甲

申春／三月／源信弥撰（序） ④ 大学原文 此書余…… 騰谷 矢部

保惠句読 ⑤ 左右双有9行19字小双。白口（集） ③ 文政庚寅春

正月上元之日／関東 龜田（梓撰）「大学集義序」 ④ 大学集義上

（下）／騰谷 矢部保惠 輯録 ⑤ 左右双有9行19字小双。白

口 ⑥ 大学集義畢。

文政一三年一月序刊（集義塾藏板） 大三冊 京筑東阪大福無

存集義 斯無

山崎（闇齋）（嘉）編 大学啓発集六卷序例一卷

① ③ 五月四日 山崎嘉序「大学啓発集序」。大学啓発集序例

（京無なし、亦綴順異なるものあり） ④ 大学啓発集卷之一（一上）

⑤ 単無8行16字。白口単白魚尾。中縫に「啓発集義」 ⑥ 大学

啓発集卷之一（二・四・六）終（卷之三・五）。修本は「同卷

之四終」と改む ⑦ 五月四日 山崎嘉記「跋蒙養啓発集」 ⑧ 尾

題下に陰刻にて「武村昌常刊行」。修本は跋の匡郭外左下に木記

「寿文堂刊行」 ⑨ 卷四一三六前後、三七前後、卷六一四前後、

又八等増修せし丁あり。増修本を底本として「続山崎闇齋全集

中巻」(昭和一二 日本古典学会刊)に影印さる。

〔江戸前期〕刊(〔京〕 武村昌常) 大七冊 京斯書

〔修〕(〔京〕 寿文堂) 斯書筑東北内(跋なし) 阪大福無

山田昌殷撰 大学章句俗解五巻

①貞享二年修本以下「新板大学俗解」②左右に昇龍下龍を刻し、中に木記の如く梓で囲み「大学章句俗解」(斯なし)③永菴主人/立庭題洛陽新蕪軒 皆(隔一行)/寛文十一辛亥冬十一月朔「題大学俗解首」(序中に「門/人山田昌殷:一旦乘_マ訓詁_ノ之筆_ヲ用_テ倭字記_ス之命_ヲ曰_ク大学俗解/…」)と。修本は年紀を削去す④大学章句俗解巻之一(四)。他は版心の巻次が

変るのみにて内題なし⑤単無9行経文19字国字解低一格小双25字内外。白口。上象鼻に「大学俗解」⑥大学章句俗解巻之三終。同巻之五大尾⑦延宝四_丙辰歳/仲冬吉詳日/松本勝左衛門_行板。貞享二年修本、刊記を削去し木記「貞享二_乙丑九月中浣/武江書肆/市川治兵衛刊」。斯は刊記削去⑧未見なれど寛文刊本ありて、延宝四年は印か。

延宝四年一月刊(松本勝左衛門) 大合一冊 筑

貞享二年九月〔修〕(江戸 市川治兵衛) 慶阪府 ○偽題〔林

羅山〕(道春)撰

〔後印〕 大二冊 斯 ○同前

同人撰 同五巻

①改正大学章句俗解③同前。大学音義/序六十五字④大学章句俗解巻之一(一五)⑤単無9行19字国字解低一格小双22字内外。白口。中縫に「大学俗解巻幾」⑥大学章句俗解巻之一

終(五終)。二/巻終。大学俗解巻之三終。四なし⑦大学跋/新安朱熹_ヲ謹記⑧貞享二_乙丑曆三月吉且/洛陽錦小路 永田長兵衛開板。

貞享二年三月刊(京 永田長兵衛) 大合一冊 京慶筑(大合二冊)無

同人撰 同五巻

①東北「大学章句」のみ残るも以下剝落。後印本(斯)「新板大学章句俗解一(一三)のみ残存。(福)は「新板大学俗解 乾」のみ存。(無)「改正大学俗解 乾(希)」③永菴主人立庭題洛陽新蕪軒皆寛文十一辛亥冬十一月朔「題大学俗解首」④大学章句俗解巻之一(一五)⑤単無7行17字内外国字解低一格小双23字内外。白口。上象鼻に「大学俗解」⑥大学章句俗解巻之二(三・三一四なれど三と誤る)終。同巻之五大尾/山田昌殷述之⑦延宝四_丙辰歳仲夏吉日/夷川通寺町西入町 河内屋理兵衛板行。後印本刊年のみ残し書肆名を削去。

延宝四年五月刊(〔京〕 河内屋理兵衛) 大五冊 天(第一冊欠)東北

〔後印〕 京斯筑都福無

同人撰 同五巻

①_新板大学章句俗解一(一五)③以下同前。但し巻五尾題後の選述者名なし④元禄二年/己十一月十一日/万屋彦三郎板。元禄二年一月刊(〔京〕 万屋彦三郎) 大五冊(覆延宝四年五月刊本) 筑

横田〔何求〕(俊益)撰 大学金篇抄七巻

① ③元禄三年庚午秋九月重陽日(自序) ④大学金簾抄卷之一(一七) / 奥会散人横田俊益記 / 武都遊子同 俊将校 / 大学章句序 ⑤双無8行19字困字解低一格小双。大黒口 ⑥大学金簾抄卷之一(一六)。同卷之七終 ⑦元禄辛未季夏丙寅日 / 武都遊子横田俊将謹跋(跋) ⑧木記「書林(横書) / 京二条通 上村次郎右衛門 / 大坂高麗橋筋上人町 鷹金屋庄兵衛 / 江戸芝三嶋町 吹田屋平兵衛」。

元禄四年六月跋刊(江戸 吹田屋平兵衛等) 大七冊 京斯筑無

吉村秋陽(晋) 撰 大学(贋議)

①旧本大学贋議 ②安藝吉村秋陽先生著 / 旧本大学贋議 / 浪華書房 岡田羣玉堂 梓。後印本は書肆名を「青木嵩山堂」と改む ③龍集乙卯立夏後一日安藝後学吉村晋謹題(序) ④大学 / 安藝

吉村晋 贋議 ⑤左右双有9行19字。白口。上象鼻に「大学贋議」

⑦安政五年秋七月 男駿押跋(跋) ⑧奥付「安政六己未年三月 / 発兌 / 書林 / 藝州広島 井筒屋勝二郎 / 江戸 山城屋佐兵衛 / 同 須原屋伊八 / 同 岡田屋嘉七 / 同 須原屋茂兵衛

/ 京 俵屋清兵衛 / 大坂 河内屋茂兵衛 / 同 秋田屋太右衛門。万延二年印本奥付「万延元年庚申壬三月発行 / 吉村重介著

/ 江戸日本橋南通亭町目 須原屋茂兵衛」。明治印本封面なく、奥付「和漢書籍売捌処 / 群玉堂河内屋 大阪心齋橋博勞町角

岡田茂兵衛」。後印本奥付は、池田草菴撰「古本大学略解」の後印本三種と同じ。亦是「和漢洋書籍発兌処 / …… 御用書肆 / 発

行印刷者 大阪市東区博勞町四丁目廿七番邸 青木恒三郎 / 製本発売所 東京市日本橋通壹丁目 青木嵩山堂 / 同 大阪市中

齋橋筋博勞町 青木嵩山堂」を付す ⑨東北に安政二年九月〔佐藤〕一齋批の移写本あり、本文版本と小異あり、版本作成以前に秋陽が一齋に批を仰いだものの転写本か。亦阪府に東沢瀉筆かと思われる写本あり、序跋整うも本文共版本と少しく異なる。

安政六年三月刊(大坂 岡田羣玉堂河内屋茂兵衛・田中宋榮堂 秋田屋太右衛門) 大二冊 京慶斯筑都東北福無 万延一年閏三月〔印〕(江戸 須原屋茂兵衛) 内

〔明治〕印(大阪 群玉堂河内屋岡田茂兵衛) 阪府無

〔後印〕(大阪 青木嵩山堂) 京筑天都東阪大無

和田綱撰 大学啓 ① ④大学啓 / 出雲 和田綱 著 ⑤左右双有10行20字。断句。白口 ⑥大学啓終 ⑧朱印「和田 / 綱」「字印 / 子文」(慶内共になし)。匡郭外に墨印「和田塾藏版」(京は全てなし)。

安政三年修本印記何れもなく「安政三年丙辰二月 / 浪華書林

北久太郎町四町目 河内屋新次郎」 ⑨九丁裏第五行「是引詩」 ↓「引詩而」、一二丁裏第四行「温古」 ↓「温故」、一七丁裏第八

行「左伝曰 ↓ 伝所謂」、同第九行「。家語曰。義以。生利。」「及義以生利。是也。」と改む。初印本は胡粉で塗抹し墨筆にて訂正するものあり。

〔江戸後期〕刊(出雲 和田塾藏板) 大一冊 大阪天満宮京慶

内 安政三年二月〔修〕(大坂 河内屋新次郎) 大阪天満宮

繪 本 大学幼稚講釈(封面)

— 246 —

① ② 画図中に「本大学幼稚講釈／東都書賈「文永堂藏梓」(修本なし) ④ 大学／朱熹章句(上層に「此大学は唐山の聖人／孔氏さまの御家に伝へ……」) ⑤ 単無經文6行13字内外国字小双不等。総振仮名。版心なし ⑥ 大学章句名譽 ⑦ 忠孝三十六佳撰／教訓享春水撰／溪斎英泉画／歌川国直画／江戸書林京橋南中通り 弥左エ門町中程 ⑧ 修本見開きの絵図を削除し、丁付を「大三四」等と改刻してごまかす。

〔江戸後期〕刊(江戸 文永堂大嶋屋伝右衛門) 中一冊 都福〔修〕(同) 無 同(外題)

① ④ 以下同前 ⑧ なし ⑨ 前掲書三丁裏四丁表、八丁裏九丁表、一五丁裏一六丁表、二四丁裏二五丁表に夫々見開きの画図あるも此書にはなし。蓋し修本の覆刻ならむ。

〔江戸後期〕刊 中一冊(文永堂刊修本の覆刻か) 東

寺子大学独指南(封函)

① 平仮各付 寺子大学独指南 ② 巻物を画きその巻頭外題・見返に「寺子大学独指南」・「欲討四書与五経／須解三綱及八目」 ③ ①のかへりてんをよむ法。①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿の

かへり点をよむ法。①のしるしをのしる法。④ 大学章句序(上層に「〇發端／大学とは大人の学問をいふ／なり……」)／大学朱熹章句。⑤ 単有4—6行8字。総振仮名。白口。柱題「〇寺子大学」 ⑥ 大学章句終(上層も同じ) ⑦ 尾題の後に「前に誦法を標といへども猶も幼童の早見分易からんがために再びいろはの／号を以……」(誦法凡例再識) ⑧ 奥付、封面に

対応し巻物巻軸を画き、その中に木記「文化七年／庚午霜月／京都書肆／中川藤四郎／小川多左衛門／三木安兵衛／西村吉兵衛」。

文化七年一月刊(京 西村吉兵衛等) 半一冊 国学院

大和大学鈔六卷

① 絵入太和大学鈔一。絵入屋まと大学鈔二。 入屋満と大学鈔三。 入屋まと大学鈔四。 絵入太和大学鈔五。 絵入屋満と大学鈔六。 太倭大学巻之一目録。太和大学鈔巻之二目録。同巻三(四・六)目録。太倭大学鈔巻五目録(各巻巻頭にあり) ④ 大和大学鈔巻之一(一—四)。太和大学鈔巻之五。大和大学鈔巻六 ⑤ 無無10行、經文大字七行字数不等。総振仮名。白口。上象鼻に「大学和鈔」 ⑥ 太和大学鈔巻一。大和大学鈔巻二(三)。大和大学巻之四終。大和大学鈔巻之五終。大和大学鈔巻之六大尾 ③ 元禄七甲載青陽穀旦／書堂 洛五条橋通 北村四郎兵衛壽。後印本、刊記の後に奥付「(広告書目)／書林 大阪心齋橋ばくろ町筋角群玉堂 河内屋茂兵衛」。

元禄七年春刊(京 北村四郎兵衛) 大六冊(絵入) 筑(半六冊)天

〔後印〕(大阪 群玉堂河内屋茂兵衛) 福井県立図

単行中庸類

市川鶴鳴(匡) 撰 中庸精義二巻

① ② 鶴鳴市川先生著／達齋市川先生校(此二行の下に「官許

の墨印あるものあり／中庸精義／三恕堂蔵板 ③天保十五年
甲辰七月／高崎老／宮部義崧撰「序」。天保十有五年歲在馬逢執
徐季／秋月朔／高崎後学松田順之謹序「序」 ④中庸精義卷上
（下）／日本 東都 市川匡子人 著／男延孟瑤 校 ⑤左右双
有10行20字。断句。白口。下象鼻に「三恕堂蔵本」 ⑥中庸精
義卷上（下）終 ⑧朱印「三恕／堂賦」を鈐する「鶴鳴先生著
述目錄」一丁（天なし）。

天保一五年九月序刊（三恕堂蔵板） 大二冊 慶筑天東内阪大
無

伊藤〔仁齋〕（維楨）撰 中庸發揮二卷

①中庸發揮 上（下）篇 ③中庸發揮總論／日東 洛陽伊藤維楨
述 ④中庸發揮／日東 洛陽伊藤維楨 述／上（下）篇…… ⑤
單無9行20字小双。白口。中縫に「卷之上（下）」 ⑥中庸發揮
終 ⑧正徳三歲癸巳正月日。
正徳三年一月刊 大二冊 斯

同人撰 同

① ③正徳四年甲午月正元日伊藤長胤謹叙「中庸發揮序」。中庸
發揮／日東 洛陽伊藤維楨述／叙由（綱領） ④中庸發揮／日
東 洛陽伊藤維楨述 ⑤單無9行20字小双。白口。下象鼻に「古
義堂蔵」 ⑥中庸發揮下篇終 ⑧奥付「朱印『古義／堂／臧板』
の下に『四方購求之人須認此印為記若無印者皆
係偽刻』」正徳甲午新刊 京兆 玉樹堂發行。後印本は「玉
樹堂」を「文泉堂」と改む。東北後印本、奥付の前に「古義堂
蔵書 文泉堂發行目錄／平安書坊 間町通御池上ル町 林権兵

衛」一丁を付す ⑨天に版本以前の数次に亘る稿本、亦東涯・
東所等の手沢本あり。後仁齋撰述古義堂四書として合印さる。
四書合印本と思われるもの奥付なし。「日本四書註釈全書 学庸
部卷」大正一二 東洋図書刊行会刊）に文泉堂後印本を翻字。
正徳四年刊（京 玉樹堂（京） 古義堂蔵板） 大一冊 京天
東北阪府無

〔修〕（同） 斯東東北 ○二一丁表末行衍字之を削去する等改む
〔後印〕（京 文泉堂（同） 斯筑天東北内阪大福
〔後印〕四書合印本の別れか） 国書静天大阪府

伊藤〔東涯〕（長胤）撰 中庸發揮標釈二卷

① ③元文己未復月季弟長堅謹議「中庸標釈序」 ④中庸發揮
標釈卷之上（下）／伊藤長胤 著／叙曰：……時享保九一年十
月上、游長胤／書 ⑤單無9行20字。白口。下象鼻に「慥慥齋
集」 ⑥中庸發揮標釈卷之上（卷下終） ⑧朱印「古義／堂／臧
板」の下に「每部有凶章記号／無是者皆屬贗本」元
文庚申新刊 京兆 文泉堂發行 ⑨天に東涯自筆朱墨訂正入り
の淨書本、亦東所手沢本あり。

元文五年刊（京 文泉堂（京） 古義堂蔵板） 大二冊 京慶
（慶存下） 国筑天内無

伊藤鹿里（祐義）撰 中庸莖撞

① ②文政四年辛巳冬開彫（横書）／鹿里伊藤忠俗著／中庸莖
撞／仰繼堂蔵板 ③文政四年辛巳仲冬五日／吉田史員加賀太田
元貞才佐撰「中庸莖撞序」。凡例。中庸莖撞／總論 ④中庸莖
撞／信濃 伊藤祐義忠俗父句読 ⑤單無9行18字小双。断句。

白口。下象鼻に「仰継堂藏板」⑥中庸廷撞終。
文政四年冬刊(仰継堂藏板) 大一冊 斯筑東無

乾長孝撰「乾注」中庸

①乾注中庸 ②慶に「乾注中庸/退食園藏本」と刻する袋あり
③寛政三年辛亥冬十有二月望 乾長孝自序「中庸序」 ④中庸
/因幡 乾長孝 註 ⑤単有9行19字。白文。白口。
寛政三年一二月序刊(因幡 乾氏退食園藏板) 大一冊(木活)

慶鳥取県立図書館長沢規矩也氏

雨耕撰 改正中庸新説(序題)

②扉(或いは本文共紙の表紙なりしか)「改正中庸新説」。無は
単辺題簽 ③嘉永七年後七月嶺南学人保岡孚/元吉甫識「改正
中庸新説序」 ④口陳/私義兼而尊信仕候程朱学と神道性理学
の中臣祓は符合仕候愚見に/御坐候間…… ⑤無無10行字数不
等。版心丁付のみ ⑦嘉永甲寅良月水府森蔚識于江都礫川邸舎
(跋)―無なし。嘉永甲寅菊有黄華月 乙亭完識(跋) ⑧修本、
本文末に「再考」を加刻。

嘉永七年九月跋刊 半一冊 京

〔修〕無(和漢年代歌と合綴)

大田錦城(元貞)撰 中庸原解三卷

① ②錦城大田先生著/中庸原解 全六冊/……稽首請教/
多稼軒藏(但し都は冊数なし。後六冊から三冊に改めるに際し、
削去亦是刷り出さなかつたものの如し)。千鍾房印本「太田錦城
先生著/中庸原解 全六冊/……稽首請教。千鍾房発兌」。玉
巖堂印本で元の封面に戻るも冊数なし。明治印本「太田錦城先

生著/中庸原解 全三冊/……稽首請教。(千鍾房のものには
送仮名ありしが此にはなし) 万笈閣発兌(封面新刻) ③文
政七年甲申夏四月門人酒井学習之撰「中庸原解序」。文政甲申

春三月下浣/門人 信陽小諸加川隆礼有方謹識(序)。文政五
年壬午六月二十五日 加賀大田元貞才佐/序「中庸原解序」。
付言。後印本以下、宇佐美・吉川(序)を酒井序の次に綴ず
(但し綴順異なるものあり) ④中庸原解卷之一(一三)/加賀大

田元貞才佐(卷二「公幹」)学 門人/江戸 荒井繇行/下野
出井元凱/加賀 竹内 綱/同校(横書・二字共跨行)。卷二
「門人/信濃 伊藤忠信/江戸 片倉 直/下野 青山文卿/
同校(横書・同前)」。卷三「男/玄齡子喬/如晦子明/福祿天
瑞/同校(子明の下)」 ⑤単有11行20字小双。小黑口 ⑥中庸

原解卷之一(一)。卷三にはなし ⑦文政七年二月念八日/門人
江戸 宇佐美敬明德卿謹誌(序)。文政七年歲次甲申春三月之吉
/門人 尾張 吉川庸之中并書(序)。文政甲申季春念五日/但

馬 武谷徳子政謹誌(跋)。後印本以後宇佐美・吉川二序を酒井
序に続けて綴ず ⑧「錦城大田先生著述目記 門人 荒井繇行
堯民識」二丁。斯都阪府は此後に奥付「文政七甲申晚春/書林

/京都 勝村治右衛門/摂都 秋田屋太右衛門/東都 須原屋
茂兵衛」を付す。千鍾房印本は、「錦城大田先生著述目記」な
く本奥付のみ。文政一〇年印本は「大学原解」同年印本と同奥

付。玉巖堂後印本「錦城太田先生著述目録 門人 荒井繇行堯
民識」一丁、「玉巖堂藏梓目録」七丁、奥付「和漢書籍精選発
兌/東都書舖 横山町三丁目 和泉屋金右衛門」。静は此奥付

兌/東都書舖 横山町三丁目 和泉屋金右衛門」。静は此奥付

の前に「大日本史（広告）」、「玉巖堂頒行并製本書目」一〇丁（「静天」大学原解）後印本に付すものと同一）あり。都は「玉巖堂製本書目」九丁の後に、斯都「大学原解」後印本と同奥付を付す。金沢大には「伊丹屋善兵衛」の住所を「同（大坂）南久太郎町」から「南久宝寺町」と改め、「和泉屋金右衛門板」と刻する同前奥付の覆刻による奥付を付すものあり。明治印本は前出「大学原解」明治印本、朝川「善庵」撰「大学原本釈義」明治印本と同奥付 ⑨多稼軒の封面、「東都書林 須原屋茂兵衛」の奥付ある本を底本に「日本名家四書註釈全書 学庸部式」（大正一一 東洋図書刊行会刊）に翻字さる。

文政七年四月序刊（江戸）須原屋茂兵衛等〈多稼軒蔵板〉 大六冊 金沢市立図書館大阪府無

〔後印〕（江戸）千鍾房須原屋茂兵衛）金沢市立図東北無
文政一〇年二月〔印〕（江戸）玉巖堂和泉屋金右衛門〈多稼軒蔵板〉 大三冊 阪大

〔後印〕（同）金沢大 京斯静筑天都阪大 ○都と金沢大は更に後印ならむ

〔明治〕印（東京）万笈閣江島喜兵衛）国天東

〔小野〕達安撰 中庸解

③寛政壬子春二月／隨心院艸菴達安述「達子中庸解序」 ④中庸解／隨心院艸菴 達安述 ⑤単有10行17字国字解低一格字数不等。白口。版心下部に「精一堂蔵板」 ⑥中庸解終。
寛政四年二月序刊（兵庫）精一堂蔵板） 大一冊 筑

葛〔西〕因是（質）撰 中庸辨錦

① ②葛因是先生述／中庸辨錦／信濃伊藤氏蔵版。後印本蔵版者を削去し「浪花文海堂蔵版」と入木 ③日本文化丁丑春正月浪華葛質序「中庸辨錦序」。中庸辨錦目錄 ④中庸辨錦／日本葛質休文述（跨行）／池晋大進 山本簡子文 坪井翼元賢 伊藤明文卿／較（跨行） ⑤単有10行20字。經文断句。白口 ⑥木記「文化十四年歳在／丁丑冬十月開彫」。後印本木記の年紀を削去し「松村文海堂」と入木。京は此後に奥付「発行／書肆／江戸日本橋通卷丁目 須原屋茂兵衛／同浅艸茅町二丁目 須原屋伊八／同日本橋二丁目 山城屋佐兵衛／同本石町十軒店 英大助／同芝神明前 岡田屋嘉七／大阪心齋橋通南久宝寺町 伊丹屋善兵衛版」。

文化一四年一〇月刊（信濃）伊藤氏蔵版） 大一冊 京国斯静筑天都阪大無

〔後印〕（大坂）松村文海堂）斯天阪府無
〔後印〕（大阪）伊丹屋善兵衛）京

鎌田柳泓講 西谷信秋録 中庸首章講義筆記二卷

① ③文化乙亥春三月／平安手島塔菴男正場識「序」 ④中庸首章講義筆記卷之上（下）／南紀 鎌田先生 講義／平安 西谷信秋 筆記 ⑤単無10行經文18字国字23字内外。白口。中縫に「中庸講義筆記」、下象鼻に「温知堂蔵」 ⑥中庸首章講義筆記卷之上（下）終。卷末に「于時／文化甲戌之年春二月／柳泓鎌田先生中庸首章講義／門人 西谷信秋筆記」 ⑦文化甲戌之年春二月 門人 西谷信秋敬誌「中庸講義筆記跋」 ⑧柳泓鎌田先生書目。書目裏に「京都書林 脇坂仙次郎／伏見屋半三郎／橋屋儀兵衛／大坂書林 本屋吉兵衛」。

文化二年三月序刊(京 脇坂仙次郎等(温知堂蔵板)) 大二冊 京斯阪大無

〔熊沢蕃山〕撰 中庸小解二卷

① ④中庸小解上(下) ⑤無無12行經文19字国字解低一格字数不等。版心「中庸小解上(下) 丁付」を刻するのみ ⑦中庸小解は同志の所望によりて……(自跋) ⑨修本下一五丁裏五・六行「有_レ道反_メ諸身不_レ誠不_レ順_ヲ乎親_ニ」を加刻。修本をも校合し「蕃山全集 第三冊」(昭和一五 蕃山全集刊行会刊)に翻字さる。

〔元禄頃〕刊 大二冊 京筑東

〔修〕慶天東

柴田艾軒撰 中庸蛇足辯

①中庸蛇足辯 ②柴田艾軒翁著述／中庸蛇足辯／脩正舎社中某施印(明治五年印本以下此行なし)。斯に「柴田艾軒先生著述／中庸蛇足辯／京都 脩正舎蔵」と刷る袋あり ③慶應三年卯秋八月／上河明識(序)。于時明治元年冬神無月洛外西院の／橋居にて／津久井清影／七十有六歳「付言」(後印本なし) ④中庸蛇足辯 ⑤単無10行20字。白口。中縫に「中庸蛇足弁」 ⑦慶應龍集丁卯桂月上茲／遜齋上田貞「後叙」 ⑧なし。明治五年印本奥付「京都 脩正舎蔵版(朱印「脩正舎／蔵版」)／明治五申年五月発兌／東京 北畠茂兵衛／大阪 松村九兵衛／京都 井上治兵衛。後印本なし。

明治一年一〇月序刊(京) 脩正舎蔵板) 大一冊 国斯筑都 阪府

明治五年五月〔印〕(京 同) 京

〔後印〕無

関玄隆撰 倭中庸一〇卷

①大和中庸一(十) ②扉絵「顔子曾子思賢／主式山人」 ③太和中庸序 ④中庸(倭中庸卷第二へ一五・七十一)・倭中庸卷之六) ⑤単無10行經文16字内外国字字数不等。総振仮名。白口。中縫に「倭中庸卷幾」 ⑦寛文七丁_未載孟春上旬／雒下隱士 関玄隆謹誌(跋)(無なし) ⑧跋の前に「寛文七丁_未 歳仲春日／書堂風月行」。

寛文七年二月刊(京) 風月) 大一〇冊 筑福井県立図無

平愈撰 中庸述

① ②翻刻最善／中庸述／聚珍板印行(以上整版) ④中庸述 此書引証餘論省略不載故旧名曰節／下総 平愈 稿 ⑤単有9行20字 解然以本旨述程朱之意故改名曰述 小双。白口 ⑥中庸述終／(隔一行)「門人 楠就／永田 繁／端山則之／平匡教／同校(楠の下)」。

〔江戸後期〕刊(洗心堂蔵板) 大三冊(木活) 国静内阪府

高〔橋〕女護嶋(敏慎)撰 中庸証

① ③文化歳在壬申仲夏／廿五日／刑部卿藤原貞直「中庸証序」(文中に「……頃女護嶋高正卿／粹中庸証」と) ④中庸証／高敏慎録 ⑤左右双有9行20字。白口。柱題なし ⑥中庸証 終 ⑧「証堯学著述録 懷河一青信有誌」二丁(斯一部内無一早印) 又は三丁(斯一部東一後印)を付す。但し無の印年は書目の墨釘等からみて両者の中間。

文化九年五月序刊(証学堂蔵板) 大一冊 斯東内無

中島〔石浦〕(尚)撰 中庸講説

① 寛政三年辛亥春三月／加賀 後学 中島尚序「中庸講説序」④ 中庸講説／加賀 中島尚著 ⑤ 双有6行20字小双。白口 ⑥ 中庸講説畢 ⑧ 奥付「中島尚子成著述／大学講説 全一冊 近刻／論語講説 全十冊 嗣出／格心論 全三冊 嗣出／寛政十二年 申五月／成章閣蔵版」(京金沢市立図は奥付なし)但し京大本の表紙・裏表紙は後補。

寛政二年五月刊(成章閣蔵版) 大一冊 金沢市立図京天無

尾藤二洲(孝肇)撰 中庸首章發蒙図解附發蒙十二説

① 中庸首章図解。修本此下に「付録」と刻す ④ 中庸首章發蒙図解 ⑤ 単無10行26字小双。断句。白口。柱題「中庸首章図解」。下象鼻に「古風軒蔵板」⑥ 尾題なく、卷末に「天明乙巳仲冬既望尾藤孝肇識」。修本「天明乙巳仲冬望二洲藤孝肇識」と改む ⑦ 辛／酉十一月門人池暢謹書(跋)。付録發蒙十二説(内無なし)。付録の末に「右雜著十五篇及答問七条吾師 二洲先生壯歳前後之作／暢嘗所贖蔵今併付刻池暢又記」と。

享和一年二月跋刊(古風軒蔵板) 大一冊 内阪大無

〔修〕(同) 慶書静筑天阪大無 皆川〔淇園〕(愿)撰 中庸解行中庸篇旨図

① ② 平安皆川愿学／中庸解／有斐斎蔵。後印本なし ③ 中庸篇旨図(初印本本文の後に綴ず) ④ 中庸解／平安 皆川 愿 伯恭 学／安威廷良子頭／石田照 逸光／豊岡謙 君柄／中川僖 而逸／同(石田の下隔一格)／校(豊岡の下同) ⑤ 単有10行20字。白口 ⑥ 中庸解畢 ⑧ なし。後印本奥付「論語

經解 十卷 嗣出／安永乙未秋八月／京寺町通五条上ル町 天王寺屋市良兵衛／江戸日本橋南一丁目 須原屋茂兵衛／大坂高麗橋一丁目 富士屋弥兵衛／發行(横書)——大学經解後印本と同奥付 ⑨ 後四書經解として合印さる。

〔安永四年八月〕刊(京) 有斐斎蔵板) 大二冊 京

〔後印〕(京 天王寺屋市良兵衛等) 斯都 同人撰 同二卷付同

① 外題下に「新刊」と刻するものあり ③ 中庸篇旨図(前掲書の板木をそのまま使用) ④ 中庸經解卷之上(下)／日本 平安 皆川愿伯恭学 ⑤ 単有10行20字小双。白口 ⑥ 中庸經解卷之上(下) ⑦ 文化丙寅春三月／駿河 鈴木堯紀拜識「中庸經解跋」 ⑧ 奥付「文化九年壬申五月／平安書肆／北村四郎兵衛／葛西市郎兵衛／高橋久兵衛」(右下匡郭外に耳格の如くして「学庸論語經解奥書」と刻す)文化一年跋刊、文化九年印「大学經解」と同奥付。後印本此奥付の前に「○皇都書肆五車楼蔵版略書目京御幸町 菱屋孫兵衛」一丁を付す(但し東北は書目のみにて奥付なし)。文政一年印本同前書目四丁あつて、奥付「廣告書目」／文政元年戊寅初冬／皇都書林 御幸町御池下ル町 菱屋孫兵衛。

文化九年五月刊(京 高橋久兵衛等) 大二冊 斯筑阪大(二部あり、一部奥付なきも剝せしものか)

〔後印〕(京 五車楼菱屋孫兵衛) 京都東北内 文政一年一月〔印〕(同) 東

室英賀(直清)撰 荒井鳴門(公廉)補訂 中庸章句新

疏二卷

① ②英賀室 直清新疏／鳴門荒井公廉補訂／中庸章句新疏／浪華書林 菅生堂。無（河内屋源七郎印本）同様に刷印せる袋あり。国と、文栄堂後印本静都阪大は封面なく、天は「菅生堂」を削去し「文栄堂」と入木 ③中庸章句新疏／日東（跨行）／英賀室 直清新疏／鳴門荒井公廉補訂／中庸章句序…… ④中庸章句新疏卷上（下）／朱子章句 英賀室 直清新疏／日東（英賀・鳴門の上に跨行）／鳴門荒井公廉補訂 ⑤単有9行経文16字章句20字疏小双20字。白口 ⑥中庸章句新疏卷上（下）畢

⑧文政七年甲申／秋七月新刻／書林／京都 風月庄左衛門／江戸 寺田佐兵衛／大坂 泉本八兵衛。次に「崇高堂藏版目録」大坂心齋橋筋南久宝寺町 河内屋八兵衛「二丁。筑は刊記の「寺田」を「稲田」と改め「崇高堂藏版目録」は付さず。後印本、同前刊記の後に奥付「書林／江戸日本橋通巷丁目 須原屋茂兵衛／同日本橋通二丁目 山城屋佐兵衛／同芝神明前 岡田屋嘉七／同中橋広小路 西宮弥兵衛／同浅草茅町二丁目 須原屋伊八／大阪南久宝寺町心齋橋南へ入 堺屋新兵衛／同順慶町心齋橋南へ入 堺屋定七」（「大学章句新疏」堺屋定七等後印本と同奥付）。都は上冊裏表紙見返に「和語新鑑草 全部五冊／版元書林 大坂心齋橋通南久宝寺町 堺屋新兵衛」（東は刊記の後の奥付として用う）あり。天保一二年印本、同前刊記の後に奥付「天保十二年辛丑正月／書林／江戸日本橋通巷丁目 須原屋茂兵衛／同芝神明前 岡田屋嘉七／同日本橋通二丁目 小林新兵衛／同日本橋通二丁目 山城屋佐兵衛／同浅草茅町 須原

屋伊八／京都寺町通松原 勝村治右衛門／大坂心齋橋通順慶町 堺屋新兵衛」。国後印本は同前刊記の後に奥付「書林（横書）／京都寺町通仏光寺 河内屋藤四郎／江戸日本橋通巷丁目 須原屋茂兵衛／同式丁目 山城屋佐兵衛／同式丁目 須原屋新兵衛／同四日市 山城屋政吉／同本石町十軒店 英大助／同下谷御成道 英文蔵／同大伝馬町式丁目 丁子屋平兵衛／同芝神明前 岡田屋嘉七／江州八日市 小杉文右衛門／大坂心齋橋筋博労町角 河内屋茂兵衛」。文栄堂後印本は、同前刊記の後に静は「大学章句新疏」の静嘉堂藏後印本と同奥付、阪大無は「御書物所前川文栄堂 大坂心齋橋通北久宝寺町 河内屋源七郎」と刻する奥付を付す。次に刊記の「泉本八兵衛」を「前川源七郎」に改めしものあり、結尾との合印本か。河内屋藤兵衛後印本は同前刊記の後に、同肆印「大学章句新疏」と同一の書目・奥付を付す。

文政七年七月刊（大坂 菅生堂泉本八兵衛） 大二冊 京筑
 「後印」（大阪 堺屋新兵衛等） 慶都東
 天保一二年一月〔印〕（同） 斯阪府
 「後印」（大阪 河内屋茂兵衛等） 国
 「後印」（大阪 文栄堂河内屋源七郎） 静阪大無
 「後印」（同） 天都阪大 ○天は刊記のみで奥付なし。都阪大結尾共三冊本
 「後印」（大阪 河内屋藤兵衛） 阪大（封面「文栄堂」）
 同人撰 安藤業補訂 中庸新疏結尾
 ① ②英賀室 直清新疏／浪華安藤業 補訂／中庸新疏結尾／

浪華書林

文栄堂
文精堂

安政三年印本以下なし

③後学浪華安藤兼誦

／識(序)―内題の後に ④中庸新疏結尾 ⑤単有9行経文16

字疏20字。白口。第二丁のみ上象鼻に「中庸新疏結尾」、第二

丁以下上象鼻に「中庸章句新疏」、中縫に「結尾」 ⑥中庸章句

新疏結尾終 ⑧奥付「安政二年乙卯秋八月新刻／東都書肆／須

原屋茂兵衛／山城屋佐兵衛／皇都書肆 吉野屋仁兵衛／浪華書

肆／堺屋新兵衛／河内屋源七郎」。安政三年印本奥付「室新助著

／安政三丙辰年／江戸日本橋通二丁目 山城屋佐兵衛。後印本

奥付、「大学章句新疏」大阪大前川文栄堂後印本奥付に同じ。

安政二年八月刊(大坂 文栄堂河内屋源七郎・文精堂堺屋新兵

衛) 大一冊 静天阪府無

安政三年〔印〕(江戸 山城屋佐兵衛) 内

〔後印〕(大坂 河内屋源七郎) 天都阪大 阪大(二部のうち一

部)と都は奥付なし。都阪大一部は章句新疏と合三冊本

和田綱撰 中庸集解

① ④中庸集解／出雲 和田綱 著 ⑤左右双有10行20字。断

句。白口 ⑥中庸集解終 ⑧巻末に朱印「和田／綱」「字印／子

文」(慶内共になし)。匡郭外に墨印「和田塾蔵版」。安政三年

修本、此後に奥付「安政三年丙辰二月／浪華書林 北久太郎町

四丁目 河内屋新次郎」。亦木記の如き枠内に「和田氏著書目／

大学啓 中庸集解／論語使蒙抄 書経訓蒙 易伝図解(「和田

氏著書目」の下に「繫辞摘解」、中庸集解の下に「戒得餘事」と

墨書)を貼付す ⑨「一丁裏第四行「豈」を「而」と改む。初

印本、胡粉で塗抹し墨筆にて訂正するものあり。

〔江戸後期〕刊(出雲 和田塾蔵板) 大一冊 大阪天満宮京

(京刊記なし) 慶内 大阪天満宮

付 録

沢〔誼平〕撰 古文肝

①古文肝古書編図付巻 全 ④古文肝一名読中庸 ⑤単有10行20字。

断句。白口 ⑥尾題なく巻末に「文有肝。肝有此言。付之於古

書図末。并刻以伝云。／(隔一行)沢氏辞」 ⑦胄子撮二丁(京

なし)。「沢氏」と題し、次に「此大学篇中、難解且要者、先生

時譚之、遂録、／名曰胄子撮、以其在肝所不及也、請付鏤之、

……／近藤忠實謹識」と。亦跋文(京なし)末に「……先生与諸

兄弟共謀／捐資上木。以布于世。……乙丑夏五月／伊豫 近藤忠

實」とあり ⑧奥付「文化二年乙丑夏五月鐫／書肆／京師／林

宗兵衛／教来寺弥兵衛／江戸 前川六左衛門／大阪 浅野弥兵

衛／発兌(横書)」 ⑨古書編図の付録。第四丁表に紙を円く切

取り六枚貼付した「中庸七等図」あり。

文化二年五月刊(大阪 浅野弥兵衛等) 大一冊 京無

合刻学庸類

岡嶋冠山(瑛)撰〔唐音〕大学・中庸

①唐音大学 乾 ②冠山岡嶋先生句読／唐音学庸／輪孟嗣出

書肆醉墨齋発兌 ③ 大学章句序 ④ 大学／冠山岡璞註唐音
 ⑤ 単無6行16字。白口。柱題「唐音大学」 ⑥ 唐音大学終（中）
 ① 唐音中庸 ② 中庸章句序 ④ 中庸／冠山岡璞註唐音 ⑤
 版式同前。柱題「唐音中庸」 ⑥ 唐音中庸終 ⑧ 享保十二歳閏正
 月十二日／大坂南堀江三丁目 筒井屋善之助／同浄覚町 村上
 屋清三郎。

享保一二年閏一月刊（大坂 醉墨齋村上屋清三郎） 半二冊
 都阪大

岡田慮得齋（静安）撰 大学韻語図解・中庸韻語図解
 ① 大学韻語図解 ② 岡田静安著／大学韻語図／松響園蔵 ③ 天
 保乙未晩秋之日／東都 北海呂備撰并書「学庸韻語序」。天保乙
 未孟秋 東都秋水池守龍識「学庸韻語序」。天保六年乙未立夏蔵
 駅隠医慮得齋識「大学韻語序」。学庸凡例（書なく、本文五・
 六丁を重複して綴ず） ④ 大学韻語図解／東武蔵駅 隠医 岡
 田静安 著 ⑤ 単有10行21字内外。白口。中縫に「大学」 ⑥
 大学韻語図解終 ⑦（対句類集）（中） ② 岡田静安著／中庸韻
 語図／松響園蔵 ③ 天保丙申中秋前三日／津邸教授伊賀監田華
 撰「中庸韻語図解序」。天保乙未七月中元 蔵駅隠医慮得齋識
 「中庸韻語図解序」 ④ 中庸韻語図解／東武蔵駅 隠医 岡田静
 安 著 ⑤ 版式同前。中縫に「中庸」 ⑥ 中庸韻語図解終 ⑦
 （対句類集） ⑧ 或いは各々単行で出されしものか。
 天保七年八月序刊（蔵） 松響園蔵板） 半二冊 無（但し大
 学・中庸各々別の文庫に分蔵さる） 書都（存大学）

〔荻生徂徠〕（物茂卿）撰 大学〔注解〕・中庸〔注解〕

③ 戊辰之春橘信受／序「叙」 ④ 大学／日本 物茂卿 注解
 ⑤ 双有10行18字。白文。白口。丁付の上に「大」と刻す（中）
 ④ 中庸／日本 物茂卿注解 ⑤ 版式同前。丁付の上に「中」と
 刻す ⑦ 子信題（跋） ⑧ 運牌木記「広運堂／蔵百部統板」。
 〔寛延一年〕春序刊（広運堂） 大三冊 内 国斯（存中庸）

同人撰 大学解・中庸解

① ② 徂徠先生著／大学解／中庸解／上記二書名の下に）付
 徂徠先生著／述書目記／大学解中庸解二書世間有偽刻展／転書
 写、謬誤甚矣、今此本、刻物家考／定之蔵本、四方之君子、請以此為正、
 （上記の下に）玉海堂／群玉堂／梓 ④ 大学解／日本 物茂卿
 著 ⑤ 単有10行20字。断句。白口 ⑥（中） ① ④ 中庸解／
 日本 物茂卿 著 ⑥ 版式同前 ⑦ 宝曆癸酉之春 服元喬
 謹記「物夫子著述書目記」（大学解の前付として綴ずるものあ
 り） ⑧ 奥付「宝曆三年 癸酉三月吉辰／東都書林 松本新六合刻」。
 後印本奥付「（広告書目）／東都 書林 松本新六
 底本に「日本四書註釈全書 学庸部卷」（大正一二 東洋図書刊
 行会刊）、亦底本は不明ながら「荻生徂徠全集 第二卷」（一九
 七八 河出書房新社刊）に翻字さる。
 宝曆三年三月刊（江戸 玉海堂藤木久市・群玉堂松本新六）
 大三冊 京慶斯静東大阪府無 書（存中庸解）
 〔後印〕（江戸 松本新六・松本善兵衛） 斯東阪大無 他に天
 都福に大学解のみ存し、京斯筑東北に奥付を欠くものあり
 金子〔霜山〕（済民）撰 四書纂要大学二卷中庸三卷
 ① 四書纂要大学上（下）一（二） ② 安政五戊午新鑄／四書纂要大

／芳洲軒藏版（斯に同様に刷出せる袋あり）③安政四年疆樞大荒落八月念／八日安藝州儒学教授金济民／伯成父撰「序」。济民記「四書纂要卷首／先儒小伝章句集注」④四書纂要卷之一（二内題のみ）／安藝 後学金济民伯成学／大学章句序 ⑤又有9行21字小双。白口。上象鼻に「四書纂要」、中縫に「卷幾文字序（大学）」⑥大学章句終（卷二末）⑧奥付「金子徳之助著／書肆 江戸芝神明前 内野屋弥平治」（東なし）（中）①四書纂要中庸三（一五）②安政五戊午新鑄／四書纂要中／芳洲軒藏版（斯に同様に刷出せる袋あり）④四書纂要卷之三／安藝 後学金济民伯成学／中庸章句序。四書纂要卷之四（五）中册 ⑤版式同前。中縫に「卷幾中庸序（中庸）」⑥中庸章句終（卷五末）⑧同前。安政五年刊（江戸 内野屋弥平治／芳洲軒藏版） 大五冊 斯東福（福存大学）

亀井昭陽撰 大学考・中庸考

① ②天保八丁酉孟春新刻（横書）／昭陽亀井先生著／学庸考／浪華書林 松根堂発行。明治印本「天保八丁酉孟春新刻／亀井昭陽先生著／学庸考 全二冊／浪華書舗 松根堂蔵」③不肖男鏡謹題「学庸考題言」④大学考／昭陽先生著 門人 南越 荒木彪 校 ⑤左右双有9行20字小双。白口 ⑥大学考終（中）① ④中庸考／昭陽先生著 門人 南越 荒木彪 校 ⑤版式同前 ⑥中庸考終（但し本文三三丁にて終り、三三丁は尾題のみの為、天保一二年印本以下一丁節約し尾題なし）③天保八年丁酉正月発兌／浪華書林 吉田松根堂／心齋橋通安土町 加賀屋善蔵（三三丁裏にあり）。天保一二年印本奥付「天保

十一年庚子六月発兌／浪速書林 吉田松根堂／心齋橋通安土町 加賀屋善蔵」。後印本奥付「発行／書肆／京三条通升屋町 出雲寺水次郎／同寺町通松原 勝村治右衛門／同三条柳馬場 堀屋仁兵衛／江戸日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛／同二丁目 須原屋新兵衛／同浅草茅町二丁目 須原屋伊八／同芝神明前 岡田屋嘉七／尾州名古屋本町通 永楽屋東四郎／同小牧町 美濃屋伊六／紀州若山駿河町 阪本屋喜一郎／大阪心齋橋通北久太郎町 河内屋喜兵衛／同心齋橋通安土町北 加賀屋善蔵板」。明治印本奥付「三都／書肆／東京 北畠茂兵衛／小林新兵衛／佐久間嘉七／北沢伊八／西京 村上勘兵衛／辻本九兵衛／大阪 大野木市兵衛／松村九兵衛／田中太右衛門／前川善兵衛／前川源七郎／柳原喜兵衛／書籍会社／書林会社／森根堂 吉田善蔵版」⑨後印本を底本として「亀井昭陽全集 第五卷」（昭和五四葦書房刊）に影印さる。

天保八年一月刊（大坂 吉田松根堂加賀屋善蔵） 大二冊 斯（斯文政十二年戊子冬の奥付流用） 静福無 斯天都（存中庸） 天保一一年六月（印）（同） 京 〔後印〕（同） 阪大 〔明治〕印（同） 国（存大学） 筑天（存中庸） 他に京国斯都 東北福無に大学のみ存す

久保筑水（愛）撰 河尻育刪補 学庸精義三卷

① ②「筑水先生著／学庸精義／養志亭蔵」（無初印本にのみ存す）③天明二年壬寅夏六月甲申／信州 久保愛序「学庸精義序」④学庸精義卷之一（一三）／信州 久保 愛 著／納府

河尻 育 刪補／大學 ⑤ 双有10行経文22字注文小双低一格23字。断句。白口。序・本文卷頭等の初丁下象鼻に「養志亭藏板」

⑥ 学庸精義卷之一(二)終。同卷之三大尾 ⑦ 八王子郷河西／知哲書于製坂思思館「学庸精義跋」(跋中に「筑水先／生講帷下与聞其精義也」とあり) ⑧ 初印本なし。後印本奥付「東都書肆／本銀町三町目 須原屋善五郎／日本橋通二町目 小林新兵衛」。

天明二年六月序刊(養志亭藏板) 大三冊 無
〔後印〕(江戸 小林新兵衛・須原屋善五郎(養志亭藏板)) 京筑都無 京は奥付なきも第二冊の表紙・裏表紙を用いた後人の合冊本

鈴木貞斎(充)撰 学庸徳性説

① ④ 学庸徳性説／大・学明徳説 ⑤ 単無9行18字小双。白口 ⑥ 尾題なく卷末に「享保乙卯冬至十日土州貞斎鈴木充謹識於勢之山田」とあり ⑧ 元文二年丁巳閏十一月心

斎橋筋博勞町 菅田屋伊右衛門梓行。
元文二年閏一月刊(大坂 菅田屋伊右衛門) 大一冊 京筑無

〔冢田〕大峯撰 西村知雄録 大学国字辯・中庸国字辯

① ③ 安永癸巳歲閏三月望／信濃 冢田真(序) ④ 大学国字辯／大峯先生辯 門人(跨行)／西村知雄記／井上親常校／大

学 ⑤ 左右双有10行経文16字国字解低一格小双23字内外。白口。上象鼻に「大学辯国字記」、下象鼻に「青黎閣藏板」 ⑥ 大学国字辯終(中) ④ 中庸国字辯／大峯先生辯 門人(跨行)／西村知雄記／井上親常校／中庸 ⑤ 版式同前。上象鼻に

「中庸辯国字記」、下象鼻に「青黎閣藏板」 ⑥ 中庸辯国字記終

⑧ 奥付「安永三甲午歲三月／環堵室藏板／東都書肆／芝字田川町 藤木久市／日本橋三丁目 松本善兵衛／池之端仲町 須原

屋伊八／発行」。都是此前に「青黎閣発兌目録江戸東叡山池之端仲町 須原屋伊八版」四丁を付す。筑は奥付焼失せしものか。
安永三年三月刊(江戸 青黎閣須原屋伊八(環堵室藏板)) 半

二冊 筑(但し大学・中庸別置さる) 岩瀬文庫(存大学) 斯天都(存中庸)

〔中江藤樹〕撰 大学秘解・中庸秘解(外題)
① 新大学秘解 乾 ④ 大学 ⑤ 双無10行経文18字国字解不等。経文白文。粗黒口。中縫に「大学秘解」 ⑥ 大学秘解終(中)

① 新中庸秘解 坤 ④ 中庸 ⑤ 版式同前。中縫に「中庸秘解」
⑥ 中庸秘解終 ⑧ 尾題の前に「寛文七丁未歲九月上旬」。
寛文七年九月刊 大二冊 慶無

同人(中江)藤樹撰 大学解・中庸解付大学考
① 改正学庸解并大学考。寛政三年修本「寛政学庸解并大学考全」 ③ 享保戊申三月船齋書「学庸解叙」。大学考 ④ 大学解 ⑤ 単無10行経文二行どり14字国字解低一格18字。白口。上象鼻に「享保重改刻」、中縫に「学」、下象鼻に「書肆合版」 ⑥ 大学解畢(中) ④ 中庸解 ⑤ 版式同前。但し中縫に「庸」 ⑦ 跋(跋文中に「学庸ノ二解ハ吾藤樹先生ノ作ナリ」と) ⑧ 享保十三戊申

歳季夏／皇都書肆／堀川通仏光寺下ル町 河南四郎右衛門／御池通間之町角 林権兵衛。寛政三年修本「享保十三年戊申原刻

／寛政三年辛亥補刻」書林／江戸 日本橋疋丁目 須原屋茂兵衛／大坂 心齋橋通安堂寺町 大野木市兵衛／尾州 名古屋本

衛／大坂 心齋橋通安堂寺町 大野木市兵衛／尾州 名古屋本

町七丁目 藤屋吉兵衛／京師 寺町通二条下ル町 林権兵衛／
同 堀川通仏光寺下ル町 河南四郎兵衛」⑨大学第一五丁等
覆刻による修多し。国に「大学考」の自筆稿本あり。

享保一三年六月刊(京 林権兵衛・河南四郎右衛門) 大一冊
国筑都阪府

寛政三年修(同) 京静天

中荻陽谷(謙)撰 大学私言・中庸式付中庸式付録

①大学私言 完 ②陽谷中荻先生著／大学私言／中庸式／合刻
(二書名の下に)／眠齋蔵版 ④大学私言／結城 陽谷 中荻謙
著／男 震 校 ⑤左右双有10行21字。白口。下象鼻に「眠齋
蔵」⑥大学私言^畢(中)④中庸式／結城 陽谷 中荻謙 著
／男 震 校 ⑤版式同前 ⑥中庸式^畢 ⑦中庸式付録／結城
陽谷 中荻謙 著／男 震 校(付録末に「門人／浜名元知／
中山麟仙／大月良輔／飯田昌貞／同校」とあり、左下匡郭外に
「中庸私言嗣出」と刻す) ⑧眠齋著述書目。
〔江戸後期〕刊(眠齋蔵版) 大一冊 京慶斯静筑都阪府福無

追 補

荒川知言齋(恒之)撰 釈古文大学

①本文共紙表紙。外題なし ③宝曆丁丑冬十月峩眉山／人荒川
恒之序「釈古文大学叙」。宝曆十二年冬十一月 荒川恒之重識
「附言」④釈古文大学／大日本阿波 荒川恒之堯民撰 ⑤双無
8行18字小双。白口(但し版心上端は黒魚尾にて黒口の如く
す) ⑥釈古文大学^畢 ⑦峩眉山人答問帖／ 印行。「峨眉山

人著述書目」一丁。

宝曆一二年一有序刊 大一冊(仮綴) 徳島県立図

小亀市工子(益英)撰 大学諺解大成五卷

①大学諺解大成大全一(一五) ④大学諺解大成第一／大学章
句序。大学諺解大成卷二(一五)／大学^{大田音泰} ⑤単無9行17
字内外諺解小双。白口 ⑥大学諺解大成序終^{今誤如字}。同卷二終(卷之
三終・卷四之終・五之終) ⑧小亀氏市工子益英作之／寛文九
年十二月中旬／室町堺町 小亀三左衛門新刊。
寛文九年一二月刊(京 小亀三左衛門益英) 大五冊 筑

追 記

一 阪府に封面なく以下の奥付を付すものあり。「発行／書肆
／江戸日本橋南菴丁目 須原屋茂兵衛／同二丁目 山城屋佐
兵衛／同二丁目 須原屋新兵衛／同芝神明前 岡田屋嘉七／
同 和泉屋吉兵衛／同浅草茅町二丁目 須原屋伊八／同兩國
横山町菴丁目 出雲寺万治郎／同下谷御成道 紙屋徳八／尾
州名古屋本町三丁目 菱屋藤兵衛／大坂心齋橋通北久宝寺町
河内屋源七郎板」。

二 斯裏表紙見返に木記「享保拾五^{庚戌}年正月吉祥日／書林

寺町五条橋詰町 松華堂藤屋武兵衛開板」。

三 尾題の前に「于時享保九甲辰歲六月日／板木屋七兵衛彫
刻」と加刻。

四 昭和一一年、斯文会編刊「大学講本」に「大学詠歌」と題
し翻字さる。底本は不明なるも写本の如し。